

THE MEIJI YASUDA CULTURAL FOUNDATION

地域の伝統文化

公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団

地域の伝統文化 第32号

令和6年10月1日発行

発行：明治安田クオリティオブライフ文化財団
編集：専務理事 三浦達也
住所：〒163-0633
東京都新宿区西新宿1-25-1
TEL:03-3349-6194
FAX:03-3345-6388
<https://www.meijiyasuda-qol-bunka.or.jp>



京都府宮津市「初土俵入保存会」(令和六年度助成先)の『赤ちゃん初土俵入』
於：山王宮日吉神社 杉末神社例祭 撮影：平成24年10月

令和七年度 「地域の伝統文化の継承・発展活動」 に対する費用助成希望受付開始

公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団では、平成三年六月に財団を設立以来、地域に伝承されてきた「地域の伝統文化の継承・発展活動」とくに後継者の育成に必要な諸活動に対する助成を行なっています。令和七年度で三五回目をむかえます。

これまでに行なった助成は、累計一四六一件となり、その地域も全国の都道府県に及んでいます。

令和七年度も以下の内容により公募を行ないます。

詳細につきましては、各都道府県の教育委員会または知事部局の文化関係所管課に送付してあります「令和七年度助成申込要領」をご覧ください、お申し込みください。

なお、申込要領の詳細は、財団のホームページにも掲載しています。

『申込要領の概要』

〔助成対象〕

「地域の民俗芸能」「地域の民俗技術」の継承、とくに後継者育成のための諸活動に努力をしている個人または団体。

〔助成の条件〕

令和七年度(二〇二六年三月まで)に後継者育成を目的とする諸費用(道具整備費、製作材料費、育成研修費、記録保存費用など)の支出を予定していること。その支出を賄うために、外部からの資金協力が緊急不可欠であること。

〔申込手続〕

一、提出書類

「申込書」(所定用紙)

「推薦書」(所定用紙)

「活動状況がわかる写真」

「直近の収支決算書(写)」

「参考資料」等

二、申込に際し、「推薦書」に各都道府県の文化関係所管課の推薦を受けてください。

〔手続日程〕

一、申込期限

令和七年一月三十一日(金)

二、結果発表

令和七年三月下旬(予定)

〔選考方法手続〕

提出書類に基づき当財団の選考委員会で厳正に審査し、理事会に答申して決定します。

〔助成金額〕

一、民俗芸能への助成は、

一件につき七〇万円が限度

二、民俗技術への助成は、

一件につき四〇万円が限度

〔伝統文化分野選考委員〕

委員長 星野紘

(全日本郷土芸能協会理事長・日本民俗芸能協会会長)

委員 神野善治

(武蔵野美術大学名誉教授)

委員 齊藤裕嗣

(國學院大学兼任講師)

委員 田中宣一

(成城大学名誉教授)

委員 茂木栄

(國學院大学名誉教授)

委員 山内彰

(当財団前事務局長)

〈敬称略〉

Ⅱ 特別寄稿Ⅱ

民俗芸能の持続へ向けて

(公益社団法人 全日本郷土芸能協会理事長)

星 野 紘

(当財団伝統文化分野選考委員長)

星野紘先生略歴



新潟県出身。
京都大学文学部哲学科美学美術史専攻卒業。

文化庁主任文化財調査官、独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所芸能部長、成城大学大学院文学研究科日本常民文化専攻非常勤講師、神奈川大学特任教授、独立行政法人日本芸術文化振興会プログラムディレクターを経て、現在、独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所名誉研究員。公益社団法人全日本郷土芸能協会理事長。主な単著に、『芸能の古層ユーラシア』『世界遺産時代の村の踊り』『村の伝統芸能が危ない』『過疎地の伝統芸能の再生を願って』『西シベリアの熊まつり』(翻訳・編集) ほか。

地域の祭り、年中行事の賑わいとしての民俗芸能

集落の辻々や家々の門口に注連縄が張り巡らされている時とか、あるいは暑熱の夏に電車の車窓越しに赤提灯の吊り下げられている公園の一角が目に入る時とか、そんな地域の祭りとかが年中行事の折の賑わいの歌や踊り等の類いを民俗芸能と言う。例えば、神輿の行列に加わっている屋台の上で笛、鉦、太鼓を奏している祭り囃子、あるいは住民が櫓を取り巻いて踊り明かしている二、三日の夜々の所為などである。実はこれは明治の近代化以降に意識されるにいたった事項(概念)である。大正十四年東京明治神宮外苑に日本青年館が全国の青年たちの協力を得て竣工を見た折の記念事業として、各地郷土の舞踊や民謡の団体を東京に招聘してホールの舞台から一般市民に紹介された(以降昭和十一年までこの催しは毎年継続された)。当事業が今日の民俗芸能の概念が用いられるにいたった嚆矢とみなされている。第二次大戦下この催事は中止されるにいたったが、戦後文部省芸術祭の一環として全国郷土芸能大会の名称で同趣意公演が行われたりして、郷土芸能の概念も一般化していた(もっとも後に文化財保護法の規定する文化財概念としてこの

種の歌や踊りに対し民俗芸能の呼称が採用されることとなった)。

知られざる魅力を有する民俗芸能の事例

たまたま各地の民俗芸能を参観する機会が多い職場に身をおくこととなつて、これまでいくつも印象深い場面に出会つて来たのだがそれらの中から三点ほど紹介してみたい。

最初は、私の生まれ育った故郷の地の目と鼻の先の町や村で行われていた伝承である。赤い獅子頭に唐草模様の幌幕をかむった例の獅子舞に似たものであるが、ちよつと様子の異なるシシの芸能である。三匹獅子舞とかと称されるもので、これが長野県あたりから関東地方、東北地方にと東日本域に広く分布しているその一つである。実は先述の大陸伝来の獅子舞とこの三匹獅子舞とがいかなる関係にあるのかについて従来研究者間で議論されて来たのだが、当地の伝承にはその議論に関わるかと察せられる要素を有していたのであり、そこがこの伝承に興味をそそられたところである。

双方のシシの形態上の相違は、前者が幌幕の中に頭部を操る者と尾部を操る者の二人が入って一頭の獅子(シシ)を演ずるのに対して、後者は一人の演者が頭部分から尾部までまるごとひとりで演ずるといふ違いがあり、前者の獅子が竜とか麒麟といった霊獣を象り、後者は日本古来の伝承にてイノシシ、シカ、クマ、カモシカといった動物を象っているものとみなされている。後者をも獅子と称して来たことに関して、動物の肉をシシムラと称することから、大陸伝来の獅子舞の獅子の中国語音韻(シリーズ)がそれに通じていたからではなかったかと推されている。ともあれこちらは生きている動物に擬されているのだ。柳田國男

などはこの踊りを本来は神祭りに供えられた動物の贄に関わるものではなかったかと推していた(「獅子舞考」)。実はそういった見方を支持するかのような口碑が当該伝承(現在の新潟県胎内市辺域に分布)に付随していたのであり、マクガリとかマクギリといった儀礼次第である。獅子の演じ手は踊り初めに箱から獅子頭を取り出して糸で幌幕をこれに結わえ付ける。それをマクツケ(幕付け)と称し、終演後に頭と幕をつないでいた糸をハサミでちよん切る。その所為をマクガリの次第と称し、切った糸くずを灯されたロウソクの立つお盆の上に丁寧に置く、そんな簡単な所為である。ともかく糸がつながっている間は獅子が生きていると見なし、例えば舞次第の途中で演者が何かの都合で席を外さざるを得ない時には、頭の鼻先に幌幕をかぶせて置くという。調べてみるとこんな単純な所為伝承に連なる口碑(儀礼)が、山形県の庄内地方の五頭の獅子舞では、舞の終演時に刀で獅子頭の目玉のところをエイツ!と突くとか、あるいは青森県津軽地方の三匹獅子舞では獅子頭の角をもぎ取るといったことをするという風に動物供儀を想わせる痕跡が残存していた。

次に盆踊りのことである。そのひとつ長良川上流の郡上踊り(岐阜県)などは七月ごろからひと月以上にもわたって観光客を集めて踊り続けられている。

へ郡上のナアー八幡出て行くときは雨も降らぬに袖しぼる

などという文句をはじめ七七五甚句調詞型の歌詞で手振りしている。

識者から川筋一つ奥の白鳥町ではテンポの速い踊りが見られるよとの便りを得て出かけてみると、なるほど駅前からの繁華な路上に提灯飾りの踊り屋台が練り出され、暗がりの中その周囲を多



〔大宮踊り〕

くの人々が手振りしていて、この地でも郡上風の外来客を集めての景かと思えたが、ドッコイサとかヨッサカ、シッコイといった囃子言葉の曲が多く、踊り手たちは確かに早間で所作している。先き行く者の肩に両手を掛けて一同走るように下駄の歩を運んだりしている姿には郡上との違いが感じられた。

実はこのほかにも路地や広場といった野外での踊り方とは異なる踊り方があることを知った。拝殿踊りなどと称し、神社拝殿等の板間の上を下駄履きのまま踊り手は上り、下駄をガタつかせてきびきびと踊っている。白鳥町内で四五か所それが踊られており、さらに北の方（旧高鷺村とか莊川村方面）、福井県よりの石徹白（いとしろ）方面でも同種踊りが存在していた。

この種踊り歌の文句に「踊りおどるなら板の間で踊れ板のひびきで三味いらぬ」というのがあっていかにも板の間を

楽しんでる。当歌詞は新潟県上越地方の「はねおけさ」という手踊りでも歌われていて、かつてこの種の踊りは広がっていたものではなかったかと思われる。現に岡山県の蒜山（ひるぜん）高原麓の「大宮踊り」とか奈良県吉野の「十津川大踊り」といった盆の踊りにも見られる姿である。

三例目は田遊びという農民の稲作々業をまねごととして演ずるもので、奇抜な見立て表現が行われている。新井恒易によれば全国で三二八か所の神社で伝えられていた由（『田遊びの研究』明治書院一九八一）。それは多く正月など初春に行われる。田打ち、種蒔き、代掻き、田植え等々の模擬所為で出来秋の豊饒を祈る。高島団地が広がる東京板橋区のそれでは、大太鼓の皮面を田んぼに見立て、田植え作業は笠をかむった幼児を上方に放り投げることで表わす。代掻きの牛の次第では、愛知県岡崎市の山中八幡宮のデンデンガッサリヤにては、四つん這いになった牛役の背中に大鏡餅を載せて牛役が転げて見せると、豊作だ！と一同大喜びする。静岡県の藤守（ふじもり）では、頭上の藁笠から何本となく放射状に広がる紅白の花枝を背負った演じ手が登場し、まるで花見の季を迎えたかの如くである。



〔藤守の田遊び〕

少子高齢化状況下での持続への尽力

いわゆる少子高齢化状況下、山村僻地

での人口減少が魅力ある民俗芸能の存続にダメージを与えているが、現場を訪れるとその深刻さに啞然とする。長野、愛知、静岡の三県境いを貫流する天竜川流域山間地は神楽、田楽、あるいは中世の猿楽を思わす演目など貴重な民俗芸能の宝庫である。そのひとつ愛知県北設楽郡の花祭りは藝能研究の大家折口信夫が、肌寒い霜月の頃、東京などから当地通いをする研究者や学生たちの増加に、「花狂い」者との喻えを呈していた。大きな竈に焚き火で湯をたぎらせ、その周りを演じ手の顔の何倍もある仮面の鬼様たちがマサカリを振りまわして踊り回ったり、青少年の舞い一演目が一時間以上も踊り続けられたりと、駆けつけた村の衆の喧騒の中で徹夜する実に見事な湯立て神楽である。

一九七六年これがいち早く重要無形民俗文化財指定された時は一七集落で執り行われていたが、その後豊根村の山内、間黒（まぐろ）集落の伝承が絶えた。二〇〇八年三月に当該集落を訪ね実情を聴いた。中日新聞によれば、山内の戸数二六、人口四〇人で平均年齢が七〇歳以上で全世帯の半数が一人暮らし、小学生はゼロとのこと。確かにあの長丁場の祭り執行は無理な状況と思えた。この折同行してくれた東栄町下栗代集落の一野瀬花太夫は、我が町の「一か所は存続しているものの、何時同じ目に遭うかとヒヤヒヤしているとのこと。同人の集落の事を語ってくれた。今は二〇戸に減った。したがって花祭り執行関係者の人員確保が何よりも問題である。舞い手は他所へ流出した子どもたちや親戚関係者などを呼び寄せて何とか間に合わせているが、問題は全体の総務役、会計係、酒や茶の番、焚き火係、着付け係などの後方部隊である。それに囃子方、歌い手、太夫など合計二〇人以上を要する

がそれが揃わなくなっている。対応策としては作業内容の省力化で、たとえば祭りに欠かせぬ籠づくりを毎年行ってきたのを作り付けのものに替えた。また省力化とは逆に、以前は六〇歳でお役御免としたが今は七五歳の敬老会入りまで退任させないことにした。



〔花祭り（下栗代）〕

ちなみに昨今東栄町内集落の伝承も一箇所途絶え、花祭り伝承集落数は一四と減ってしまった。もはや集落外の第三者の支援を仰がねばならないような事態である。東栄町の花祭り集落の一つ御園（みその）の人たちと長年にわたって親交を重ね、現地のサポーター役をも果たしている稀有な東京東久留米市の住民グループ「東京花祭りの会」がある。昨年六月の国立劇場の民俗芸能公演「花祭り」において御園集落の人たちと共に舞台で踊った。例の「花狂い」の方たちかと察するご両親が会を立ち上げられ、ご子息が御園小学校へ山村留学され（現在同会の代表）、当該団地住民は親世代、子供世代、孫世代と三代にわたって御園の伝承者の教えを請い、東京花祭りの催しを三十数回行ってきた。近年南信州の民俗芸能団体が共同で県内の企業主に対し、集落外の人々が他所の芸能の祭り日などに参加し易いよう従業員に休暇を付与するよう要望していたが、意義ある一つの支援施策かと思われた。

寄稿

北の自然と闘う開拓者の 心を表現「望来の獅子舞」

北海道石狩市厚田区望来

望来獅子舞保存会

会長 三枝 豊

(令和六年度助成先)

◇望来という地域について

望来獅子舞（もうらいししまい）が継承されている旧厚田村望来。現在の北海道石狩市厚田区望来は、日本海に面した南北七〇キロに及ぶ石狩市の中心部に位置する。札幌から車で一時間程のこの地域は、農業が主な産業であり、開拓の当時に本州より移民してきた先人が苦勞して開墾した土地は、今も農地として恩恵を受けている。

◇望来獅子舞のはじまり



〔昭和5年9月望来獅子舞が
始められた時の写真〕

昭和五年九月。望来神社の祭典の日。移設・新設されることになった望来神社に奉納するための出し物を何か作ろうと相談が持ち上がった。明治二十八年に富山県から北海道に渡って来た本吉（小島）五市郎

氏が「幼いころ習い覚えた獅子舞を再現してみたい。」との申し出があり、有志の方々の資金捻出の見通しも立ち、数名の若者を集めて再現に取りかかったのである。これが、九四年間続いてきた、今日の望来獅子舞のはじまりであった。

◇獅子舞創設の苦勞

明治十二年十月十三日生まれ、小島五市郎氏は、一七歳のとき故郷の村（富山県東砺波郡利賀村大字下原村）を単身で飛び出し、北海道各地を渡り歩いて厚田村の古潭の浜に腰を据えた。古潭で所帯を持ち本吉性となり、昭和の初め望来に移り農業に従事していた。

一七歳で故郷を後にしてから三十数年を経て望来での獅子舞再現の運びとなったが、出生地で獅子舞をしたのはおそらく一四〇歳の頃ではないかと思われる。

三十数年前の記憶を戻して再現しようとした努力は、並大抵の事ではなかった。しかも、誰一人相談相手もなく、笛、太鼓の曲目から獅子の動作、獅子取りの演技に至るまで、すべて一人で指導に当たったのである。

数か月間、毎晩のように若者を集め、納屋を借りてランブやロウソクの灯の下で、厳しい練習を繰り返して、大変な苦勞があったであろう。

用具類をどのように手に入れたかについては、詳細な記録が無いので定かではないが、古老の話によると、札幌や小樽まで出かけて

捜し歩いたという。しかし、獅子頭や胴幕、太刀、なぎなた、獅子取りの衣装などの主要なものは、おそらく、故郷富山から取り寄せたものと思われる。

◇望来獅子舞の演舞・構成

祭典当日は、のぼり旗、五色ふきながし、太鼓、笛、獅子頭、獅子取りの順で隊列を組み、今も変わらず二日間かけて望来地域の約二〇〇世帯の各家々を巡幸する。昭和三十年代前半までは、一日目には山越えをしながらの巡幸だったそうであるが、その後はマイククロバースで回るなど時代と共に変化してきた。昭和六十年頃までは、ワラジやゾウリをはいていたが、道路も砂利道のため、一日二足以上必要であったようだ。現在は、地下足袋やスニーカーを履いている。獅子は、一列一頭立て。富山県の系列という砺波型（となみがた）。胴幕の中に大人五人が入って演舞する。頭



〔望来神社前での演舞奉納〕

獅子取りは子役が演舞。小刀、鎖鎌、なぎなた、棒術の四種類の舞を行う。一―三人が太鼓と横笛での演奏で舞を行う。移動の際に吹かれる「道中・歩き笛」「舞の笛」「帰り笛」の三種の曲目がある。
獅子舞は、望来住民の無事平穏や家運の隆盛、五穀豊穡を念じて

舞っている。無病息災を願って、獅子に頭を噛んでもらう要望が、お年寄りや小さい子どもからあり、ほほえましい姿である。

◇獅子舞学習の取り組み

昭和五十八年から、望来中学校（後に厚田中学校と統合、厚田学園と統合）では、「地域に根差す教育」の教材として獅子舞の伝承活動を行ってきた。この事が、当時学校の獅子舞学習で笛を経験している子たちの、その後の保存会への参加に繋がり、人手不足に悩む保存会にとって貴重な人材となっていたのである。



〔お祭り前の練習風景〕

しかし、厚田区内の小中学校の統廃合と、コロナ禍をきっかけに獅子舞学習が中止されて以来、児童数の減少も相まって望来獅子舞の伝承活動は残念ながら現在では行われていない。

◇獅子舞保存会の努力

昭和四十五年に結成された当会は、現在約四〇名の会員によって構成されている。普段はこの地域に住んでいない会員も、年に一度のお祭り・獅子舞のために仕事を休んでかけつけてくれる人もいる。

望来獅子舞において、獅子取りと呼ばれる舞を踊るのは、子どもの役割である。早ければ五歳頃から習い始め、中学校卒業までの約九一〇年の間獅子舞に関わることになる。成長してもなお、獅子頭役として継続して参加してくれる人も一方、進学や就職に伴い地域を離れてしまふ人もおり、人手不足は常に課題である。
これまでの望来獅子舞の歴史では、獅子舞に携わるのは男の子のみとされてきた。いわゆる女人禁制の神事としての扱いであった。だが、少子化の時代に、これまでのように男の子だけを獅子取りとしていくのは、今後獅子舞の継承・存続が厳しいであろうと考えると、令和五年のお祭りより、希望する子役は、女の子であっても参加できるということを保存会役員で話し合った。



〔令和5年集合写真〕

創始から一〇〇年を目前に控え、この先もこれまで続けてきたこの伝統を継続していくために、役員若返りがあったことも今後の伝承活動の継続に期待する所である。何よりお祭りの獅子舞を、玄関先で待っていてくれるお年寄りの姿や、舞を楽しむにしてくれている住民のためにも、これからも望来獅子舞を舞い続けていきたい。

寄 稿

地域の宝「福田十二神楽」

福島県相馬郡新地町

福田十二神楽保存会

会長 窪田 松雄

(令和六年度助成先)

◇はじめに

新地町福田は、福島県浜通り地方の北の端、宮城県との県境にあります。緑の山々とのどかな田園風景が広がるこの地区には、拍子も舞いもすべて子供たちが演ずるのが特色の福田十二神楽が伝わっております。



〔三本剣舞〕

この神楽は、今から一六〇年前の慶応元年（一八六五）頃に、宮城県伊具郡丸森町から伝えられました。もとは大人たちが演じておりましたが、福田に伝承した際、とくに少年に演ぜしめることにしたと言われております。この神楽は、修験

の芸能の面影を残す福島県内でも類の少ない神楽であり、平成六年に県の重要無形民俗文化財の指定を受けました。

神楽を舞う少年たちは神楽師と呼ばれ、諏訪神社の氏子の小学校二年生から六年生までの長男・二人を選び、これより七年間を一代として次の代へ引き継がれておりました。しかし、令和元年の春祭りを最後に、それまでの形で継承が途絶えました。およそ一五〇年間続いた福田十二神楽の伝統は、第二二代神楽師が最後となりました。その原因は、少子化や子供たちを取り巻く環境の変化、そして時代の流れの中にあつて伝統芸能を継承したいと思う子供たちが少なくなったのだと考えます。

◇復活への取組み

そこで我々が取り組んだことは、新たに保存会を組織して、将来に渡って守り伝えるためにどうすべきかを地域の方々と協議を重ねました。地元の福田小学校において保存会が直接指導する体制を整え、新たな形で継承することを決めました。さらに、町教育委員会、学校関係者と交渉し承諾を取り付け、令和三年から学校での神楽授業を行っております。

その取組み内容は、三年生の授業において月一回から二回の頻度で年間を通して行っています。また、成果発表として年度の最後に、

全校生徒の前で習得した舞、太鼓を披露します。そして、三学年終了後、さらに継続して神楽をやり続けたいか希望を取り、現在四年生・五年生・六年生の一八名が参加しております。一八名のうち女子が七名おります。以前は、福田十二神楽の伝統として女子の参加は認められませんでした。現在は積極的に募集しております。



〔八幡舞〕

◇時を超えて

私も、五〇年前にこの神楽を踊っております。何年たっても笛や太鼓、そして踊りを忘れることはありません。私が神楽を始めた頃は、先代の神楽師が先生となり厳しくも優しく、まさに体育会系の指導でありました。その時の関係は神楽の指導に留まらず、大人になっても一生続き深い絆となっております。歴代の神楽師は七年毎の代替において、その年の十二月か

ら「百日道場」といって、新しく選ばれた子供たちに対し、先代の神楽師が先生となり、百日間諏訪神社の社務所において稽古をつけてくれます。毎夜七時より九時まで、その稽古は「神楽師の心得」を基本として、厳しくも時には楽しく先代から教わりました。この体験から、授業において単に神楽を教えるだけでなく、私自身が先代から引継いだ福田十二神楽「魂」を感じてもらおうと、試行錯誤しながら頑張つて指導しております。



〔春季例大祭にて〕

◇舞に願いをこめて

舞の基本として、「除災招福」「五穀豊穡」「家内安全」「無病息災」「勸善懲惡」の五つの祈願が込められております。演目は、①②神子舞・明神舞③④束舞・四方固め舞⑤恵比寿舞⑥毘沙門舞⑦種蒔き舞⑧春日舞⑨二本剣舞⑩三本剣舞⑪八幡舞⑫獅子舞の全十座十二種であります。神楽は、諏訪神社の春の大祭五月三日と、秋の大祭十一月

三日に奉納されます。一六〇年前より時を重ね、そして人から人へと福田十二神楽「魂」は受継がれてきました。これまで幾度か伝統の灯が消えそうになりましたが、その困難を乗り越えて福田地区住民の心の拠り所として地域の宝として、未来永劫引継がれていくものと確信しております。



〔恵比寿舞〕

「福田十二神楽師の心得」

- 一 神楽師は、福田十二神楽の伝統を守り次代に正しく伝えること
- 一 神楽師は、諏訪神社の春秋の祭典に神楽を奉納することを基本とし、舞の向上に努めること
- 一 神楽師は、常に神楽師としての誇りをもち、立派な人間になることをめざして修養を積んでいくこと
- 一 神楽師は、地域の人々から信頼される人になること
- 一 神楽師は、礼儀を守り、仲良く助け合うこと

寄 稿

小さな神社の祭りを 守るための挑戦

千葉県千葉市中央区

都町諏訪神社囃子会

会長 益子 泰人
(令和六年度助成先)

◇はじめに

私たちが活動をしている千葉市中央区都町は、江戸時代には、邊田村という地名でしたが、明治に入って都町と名を変えて、その中心に鎮座しているのが諏訪神社です。創建は不明ですが、境内には安永の文字のある灯籠があることから、約二五〇年前からこの地にあったことが分かります。



[千葉市民芸術祭]

都町諏訪神社囃子は、一度途絶えましたが、近隣の作草部神社神楽連の師事を受けて昭和五十七年に町内有志により再結成いたしました。現在は、千葉市伝統芸能保存協会会員としても活動をしています。

◇都町諏訪神社囃子会の活動

活動内容は、秋の例大祭での囃子の奉納、神輿の巡行の支援や囃子の演奏、小学校での体験学習への参加や、地域敬老会での演奏披露し、毎年実施する盆踊りでの太鼓の演奏等地域と密着した活動をしています。囃子は、大囃子、昇殿、鎌倉、四丁目で構成される組曲のほかに、祭囃子としての仁羽を演奏し、仁羽では道化舞も加わり賑やかな演奏をしています。

当会は、師匠方である作草部神社神楽連から師事を受けたことから、葛西囃子の特徴を持っており、囃子方は笛一、締太鼓二、大胴一、鉦一の五人囃子で編成されています。年齢構成は四〇から五〇代を中心に八〇代までが会員として活躍しています。練習は、毎週土曜日に子供と大人の二部構成で行っています。教え方は、口伝や口伝を文字にした譜面を用いて、会員同士の演奏を見て聞いて覚えるような練習をしています。



[例大祭神輿巡幸での風景]

◇伝統芸能を受け継ぐことの問題と課題

伝統芸能の問題は、伝統芸能の担い手の高齢化及び次期担い手となる中年層の定着であり、当会も他団体と同様の後継者問題を抱えております。

さらにコロナが追い打ちをかけて、祭礼が中止になり、演奏を披露することも後継者を募集することでもできずに、団体活動の休止や祭礼を中止してしまつたところもあることはこの冊子の読者も感じているところだと思います。



[諏訪神社神楽殿での奉納]

当会はコロナ後を見据えて、高齢化する近隣の団体との交流や祭礼等の協力をするにとしました。課題は、持続的に交流や協力をどのように関係構築していくかという点になり、演目を増やし、現在も伝統芸能を保持している団体との練習を通じて交流や協力することとしました。

新たな演目として地域に親しまれ、リビートされるようなものとして獅子舞を加えて、獅子舞の保持団体である登渡神楽囃子連に指導を受けて新たな交流を始めました。練習の仕方においても学びが多

く、当会でも取り入れることにしました。

そしてコロナ後は、獅子舞を地域の小学校の体験授業や福祉施設などで披露し地域に伝統芸能を身近に感じてもらう活動を再開し好評を得ております。



[都小学校での体験学習]

さらに、昔は演目となつていて、道具は揃っているのですが後継者がいないなかつた狐の舞を復活させて、獅子舞との掛け合いを企画して師匠方である作草部神社神楽連の指導をいただいているところです。

◇他団体との交流の効果

他団体との交流を通じて、一番良かったことは、当会の活動が活発になり、会員のモチベーションが上がつたことです。昨年、当地域は二年に一度の神輿巡行がありましたが、コロナがあつたり、台風で中止となつたり、六年ぶりの神輿の巡行となりましたが、コロナ禍で練習が頓挫した当時小学生が中学生として参加したり、長く休会していた方が参加したりして、久々の祭礼にも関わらず成功裏に収めることができたのは、当会の活動が再び活発になったことを感じました。

また昨年は、作草部神社神楽連が協力している祭礼にも協力して

演奏を行うことで当会との絆を改めて深めることができました。さらに新たに新年会等にもお誘いを受けるようになり、後継者の発掘、定着に向けて手ごたえを感じるようになりました。

◇おわりに

私は、この地域に小学生の時から五〇年になります。その時から祭礼の際は囃子が奏でていたと思つてましたが、当会発足は五十七年と伝えられてきたので記憶違いと認識していました。

今回財団からの助成金で太鼓を修理したところ昭和五十三年新調と判明し、正式な発足前に先輩方は、ゼロから今の囃子を習得維持してきたことを想い、我々も再び世代を変えて学びの姿勢で近隣の伝統芸能保存団体との交流協力を行い、都町諏訪神社囃子会として挑戦しようと考えています。

そしてどこにでもあるような小さな神社ですが、祭礼の度に小学生が授業で聞いた囃子の音を思い出していくことが地域の絆を深めていくことと考えて、これからも練習に励んでまいります。



[練習風景]

寄稿

福を運んだ「三番叟まわし」

さんばそう

徳島県徳島市国府町

阿波木偶箱まわし保存会

会長 中内 正子

(令和六年度助成先)

◇受け継がれた伝統

阿波木偶「三番叟まわし」(徳島県指定無形民俗文化財)は、四国の正月習俗として江戸時代から今日まで受け継がれています。明治初年には二〇〇人ほどいたという芸人は、戦後から高度経済成長期に激減しましたが、現在は阿波木偶箱まわし保存会(以下保存会)が継承し、一〇〇軒を越す民家に福を届けています。



〔阿波木偶「三番叟まわし」〕

式三番叟とえびす舞を、自ら語りながら一人で人形を遣う芸で、二つの木箱を振り分けにして天秤棒で担ぎ得意先の家々を門付けします。前の箱には、千歳、翁、三番叟とエビス人形の四体を入れ、後ろの箱には神札や御幣の他、祝儀や米餅などを入れて移動します。通常、木偶を操る芸人と鼓打ちの二人がひと組となって、元旦から春

先まで稼働しました。門付け先は、すべて日時や順番を決めており、食事の接待を受ける家や宿泊する「ヤド」も決まっています。



〔「三番叟まわし」を迎える文化が生きている(三好市)〕

「三番叟まわし」を迎える家人は、荒神祭祀の後に三番叟で清祓され、エビスから福を受け無病息災、家内安全、五穀豊穡、商売繁昌を予祝されます。また、「三番叟まわし」は農業神事の側面を持ち、徳島県の「楸初め」や愛媛県での「ノバセワラ」の神事を行った記録が四国各地の史誌で確認できます。他に、藍寝床折袴や普請の地鎮祭で三番叟を踏むなど、庶民の暮らしに根差した芸能でした。現在、徳島県・愛媛県・香川県内で一〇〇〇軒余りの民家に福を届けています。

◇どうして生かされた

四国の正月には欠かせない習俗

であった「三番叟まわし」は、戦争と高度経済成長などにより、危機的状況を迎えました。戦時中に空襲で焼けた得意先では、迎える文化が消えてしまいました。戦災を免れた県西部や中山間地では戦時下であっても「三番叟まわし」を迎え、一年の安寧を祈る正月習俗は生き続けました。



〔師匠と歩く中内正子会長(2000年東みよし町)〕

本会は、徳島県西部での調査を進める中で、現役の「三番叟まわし」芸人と出会えました。この芸人は、唯一とに残る「三番叟まわし」芸人だと誰もが認める方でした。本会が弟子入りを希望し、旧正月の門付けに同行を許されて、県西部の市街地から山間部に及ぶ家廻りを三年間同行させていただきました。この経験が、伝承への大切なきっかけとなりました。三番叟まわしの技術だけでは伝承とならず、迎える文化を持つ民家とのつながりが不可欠だったのです。突然訪問する門付けは無く、古くから訪問する日時や順番も決まっていたのです。

また、「三番叟まわし」以外の「えびすまわし」「大黒まわし」「福まわし」などの阿波木偶を使った伝統的な祝福芸も受け継いできました。

現在、私たちは、二〇〇一年に引退した師匠の跡を受け継ぎ、「三番

叟まわし」の門付けを行っています。

◇人形のムラを創設

本会は、二〇二二年に阿波木偶文化資料館・阿波木偶箱まわし伝承館として「人形のムラ」を開設しました。最後の芸人といわれた師匠が遺した阿波木偶の門付け用具を中心として、本会がこれまで収集してきた阿波木偶資料を縦覧できる小さな施設です。



〔阿波木偶資料(一部)〕

収集した箱まわし関係資料や五〇〇点を超すかしらや道具類の他、「阿波木偶の門付け用具一六三点」(二〇〇九年、国登録有形民俗文化財第十二号)などを常設展示して一般に公開しています。また、全国各地に遺された箱廻し芸人の足跡調査やかしらの調査研究を重ねています。二〇一一年から四年間は、県内外から研究者を招聘して「阿波木偶箱まわし調査伝承推進事業」に取り組み、この成果が盛り込まれた四冊の報告集は、箱まわし

の基礎資料となりました。さらに、「人形のムラ」一五を出版して、箱まわしの普及に努めています。

◇受け継ぎ次世代へ伝承

阿波木偶「三番叟まわし」は、徳島県指定無形民俗文化財(二〇一五年)となり、本会が保存団体と認められました。二〇二二年から、県内全域を対象とした伝承活動を展開してきましたが、二〇一四年から東みよし町・徳島市・板野町を会場として、箱まわし伝承教室を開催しています。小中学校の生徒を中心としながら、高校生・大学生の他に保護者も参加しています。

「えびすまわし」「大黒まわし」「福まわし」などの阿波木偶を使った伝統的な祝福芸も次世代へ繋いでます。その学習成果は、農村舞台公演や文化祭、県立阿波十郎兵衛屋敷の舞台でも発表しています。



〔ふるさとの誇りとして伝承〕

寄稿

小原かご 生きた文化としての継承に向けて

滋賀県長浜市木之本町

荒井木籠製作所

荒井 恵梨子

(令和六年度助成先)

◇奥丹生谷の木かご

滋賀県長浜市余呉町の北部の山間地域に位置する奥丹生谷地域では、イタヤカエデやモミジの若木を材料とする木かごづくりが生業のひとつとして行われてきました。広葉樹の若木を使った木かごは山間部の竹が少ない地域ならではの技術であり、かつては全国でつくられてきました。



[今でも使用されている「つばかご」]

軽く持ち運びが楽で、丁寧に使えば一〇〇年以上は持つほど強い日用の道具です。特に小原かごはハゼ(ヒゴ)の仕上げが丁寧で、底から側面に螺旋状に立ち上げていく編み方が特徴です。木かごの生産数が最も多かった旧小原村(一九九五年に廃村)にちなみ、大正時代以降に「小原かご」と呼ばれ

るようになりました。昭和初期ごろまで、小原村では「一子相伝の技術」としてその家の長男にしか技術が伝えなかったとされており、現金を得る手段の少ない山間の村々にとって大切な生業の一つであったことを物語っています。時代の変化とともに多くの地域で消失しましたが、小原かごは様々な縁が繋がり今に技術が残されてきました。

奥丹生谷地域での正確な発祥時期は明らかではありませんが、「二〇〇〇年代に都から逃れてきた白子皇子が、お世話になった小原村の人々に木かごづくりを教えた」という口伝が伝えられています。明治十一年(一八七八年)に滋賀県の物産品の生産数をまとめた『滋賀県物産誌(一)』に、小原村の一軒だけで年間約三〇〇〇個の木かごが生産されていたと記されています。特に需要が多かったのは長浜市の伝統産業であった養蚕の桑摘みに使われた「つばかご」で、現在でも市内の多くの古民家に保管されています。

◇唯一のつぎ手

生活様式の変化や安価で扱いやすいビニールテープの出現により、一九四五年ごろを境に需要は激減し、小原村が廃村となった一九九五年ごろには、生産者はすでにいなかったと聞きます。現在、奥丹生谷出身のつくり手は小原村で生まれ育った太々野功(ただのつとむ)氏一人です。最後の生産者である太々野氏も、

これまでの暮らしのなかで継続的にかごづくりを行っていたわけではなく、一〇代前後の子どもの時代につくり方を学び、青年時代以降に働きに出るようになってから約四〇年もの間木かごづくりから離れていたそうです。再開したのは二〇〇八年に太々野氏が地元の有志と共に立ち上げた「小原かごを復活させる会」がきっかけでした。その後、二〇二三年まで一五年にわたり小原かご教室の講師を務め、これまで私を含め一〇〇名近くの生徒に技術を教えてきましたが、材料確保の難しさから木かごづくりに取り組もうとする人はほとんど現れませんでした。



[太々野 功氏]

◇材料確保の難しさ

現在、湖北地域の小原かごの材料となる樹木は緩やかに減少しており、生産工程の中でも特に重要な材料採取や材料の選別の技術や知識を実地で学ぶことが難しい状況にあります。まず、伐採後の萌芽が獣の食害にあってしまうことが木の育成に深刻な影響を与えています。加えて、かつて行われていた炭焼きや林業が行われなくなった

ため、山林が高齢化し、大きな木が日光を遮断してしまう問題もあります。また、材料があっても山林の所有者が不明で、採取が難しいという課題も抱えています。



[材料となるイタヤカエデの株]

こうした複合的な課題を「小原かごの継承」という側面だけで解決をはかるのは困難であり、現在は自治体や林業に携わる民間団体と連携しながら山林や里山全体の整備の中で材料の育成を行っていく計画を立てています。

◇「生きた文化」としての継承に向けて

こうした問題を越えた先に、さらに考えなくてはならない課題があります。木かごづくりは材料や道具もシンプルで、器用な人であれば一度学ばずとも材料さえ採取できればつくることができます。私自身も二〇一八年に太々野氏のもとでかごづくりを学び始め、二年ほどで技術を習得して以降は材料の問題に取り組みながら少しずつ生産を続けています。しかし、この二年ほどは特に「かごをつくることのできる」というだけでは、小原かごの文化を継承することにはならない

のではないかと迷いと向き合っていました。小原かごの技術は、単にかごをつくる技術というだけではなく、豊かな暮らしを求める中で人々が失ってきた自然との関わり方や恩恵を今に伝えるものです。厳しい山村での暮らし、身の回りのものを自らの手で作り出し、自然に感謝をする姿勢、今はもうなくなってしまう小原かごの文化的背景も含めて次の世代に伝えていきたいと考えています。



[近年の製品]

ありがたいことに、二〇二三年度から年に一度地域の小中学校で実演することになり、子どもたちに小原かごのことを伝える機会をいただきました。かごづくりを教わる中で太々野氏が私に語ってくださった山の暮らしの話も共に考えています。技術を継承することが、未来の暮らしを豊かになる役割の一つを担い、生きた文化として長く繋がっていくことを願っています。

平成3年～令和6年 都道府県別伝統文化助成先一覧(1) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
岩手県 秋田県	小梨芸能保存会 戸沢ささら保存振興会 鷹巣町綴子太鼓上町保存会	山形県 栃木県 群馬県	堀内伝承文化保存会 山岡和三郎氏(日光下駄)* 大神楽獅子舞保存会	北海道 青森県 岩手県 宮城県 山形県 群馬県 東京都	平成3年度助成(29)
山形県	遊佐のアマハゲ保存会 峠ノ山八幡神社弓祭協賛会 葛尾村公民館	埼玉県 千葉県 神奈川県 石川県 福井県 岐阜県 愛知県 三重県	明覚郷流鎗馬保存会 野田津久舞保存会 大谷芸能保存会 能登の揚浜式製塩保存会* 花山行事保存会 加子母歌舞伎保存会 甚日寺説教源氏節人形芝居「もくもく座」 東玉垣唐人踊り保存会 二木島祭保存会 吉身祭礼保存会 福田お囃入れ法伝哉伝承保存会 土生八幡神社「お頭保存会」 西田葛生産組合* 中野神楽保存会 八千代神楽団 鷺の舞保存会 森藤獅子舞保存会 中山農村歌舞伎保存会 佐喜浜八幡宮古式行事保存会 内野地区老松神社獅子舞保存会 坂本浮立保存会 上井出神社奉納楽保存会 大行事八幡宮(カッパ)踊保存会) 村所神楽保存会 東郷文弥節人形浄瑠璃保存会		北海道 石崎奴保存会 厚岸かぐら保存会 青森県 紙漉沢獅子踊保存会 七戸町郷土芸能能保存会 岩手県 白浜剣舞保存会 宮城県 とよま山車まつり保存会 山形県 今利一郎氏(深山和紙製造)* 群馬県 岩島麻保存会* 東京都 説経節の会 秋川歌舞伎保存会 新潟県 神谷地域ビデオ収録委員会 福井県 越前万歳保存会 長野県 木曾漆器保存調査会* 岐阜県 大井文楽保存会 三重県 東玉垣唐人踊り保存会 奈良県 石打太鼓踊保存会 和歌山 大島水門祭保存会 島根県 西本里美氏(西田葛の復興)* 島後久見神楽保持者会 比和町郷土芸能能振興会 金城一國斎後継者池田昭人氏* 西原上十二神祇神楽保存会 中村園太夫座(岡花座) 福岡県 加布里山笠保存会 新多神相撲保存会 長崎県 大村龍踊り保存会 大分県 木牟田子供神楽保存会 宮崎県 諸塚神楽保存会 大人歌舞伎保存会
福島県 栃木県 千葉県 新潟県 富山県 福井県	八尾町曳山保存会 糸崎寺仏舞保存会 福谷区大火勢保存会 藤木道祖神祭保存会 信級中原流太々神楽囃子保存会 岐阜県 高雄歌舞伎保存会 三重県 深野和紙保存会* 滋賀県 岩熊区雅楽保存会 大阪府 能勢町人形浄瑠璃実行委員会 堺式手織綴通技術保存協会* 兵庫県 熊野神社裸祭り保存会 鳥取県 新田人形浄瑠璃芝居相生文楽 島根県 鹿子原の虫送り踊り保存会 出雲民芸紙工房*	広島県 山口県 徳島県 香川県 高知県 福岡県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島	宮城縣 福田お囃入れ法伝哉伝承保存会 和歌山 土生八幡神社「お頭保存会」 島根県 西田葛生産組合* 中野神楽保存会 八千代神楽団 鷺の舞保存会 森藤獅子舞保存会 中山農村歌舞伎保存会 佐喜浜八幡宮古式行事保存会 内野地区老松神社獅子舞保存会 坂本浮立保存会 上井出神社奉納楽保存会 大行事八幡宮(カッパ)踊保存会) 村所神楽保存会 東郷文弥節人形浄瑠璃保存会	徳島県 福岡県 長崎県 大分県 宮崎県	
岡山県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県	壬生農村歌舞伎保存会 常定神楽継承団体「戸山会」 別府岩戸神楽舞保存会 犬飼農村舞台保存会 家の浦二頭獅子舞保存会 三浦西安米自治会子供武者行列「大江山」保存会 野市町立山神社棒術獅子舞保存会 平八月祭り保存会 七浦西塩屋面浮立保存会 武雄流鎗馬実行委員会 中尾獅子浮立と唐子踊保存会 久連子古代踊り保存会 丸山俚楽保存会 今西三段打分太鼓踊保存会 入来麓砲壇踊保存会 佐仁八月踊り保存会 中村悦子氏(芙蓉布復元)*		平成6年度助成(40)		
長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島	三浦西安米自治会子供武者行列「大江山」保存会 野市町立山神社棒術獅子舞保存会 平八月祭り保存会 七浦西塩屋面浮立保存会 武雄流鎗馬実行委員会 中尾獅子浮立と唐子踊保存会 久連子古代踊り保存会 丸山俚楽保存会 今西三段打分太鼓踊保存会 入来麓砲壇踊保存会 佐仁八月踊り保存会 中村悦子氏(芙蓉布復元)*	北海道 青森県 岩手県	蘭越町根曲がり竹細工研究会* 鬼鹿松前神楽保存会 鮫神楽保存会 上郷伝統工芸研究会* 石橋鑑剣舞保存会 夏井大梵天神楽保存会 塩入神楽保存会 尾去沢からめ節保存会 北條郷総鎮守獅子冠事務所 柿岡からくり人形保存会 西川古柳座 五ヶ種チャンレ踊り保存会 柏野じょんがら保存会 能登の揚浜式製塩保存会*	徳島県 福岡県 長崎県 大分県 宮崎県	平成4年度助成(34)
平成8年度助成(47)		宮城県 秋田県 山形県 茨城県 東京都 富山県 石川県	だのせ祭り保存会 美和神社太々神楽保存会 日吉お鋤様祭り保存会 白鳥拝殿踊り保存会 大淀祇園祭保存会 貝塚東三吉馬保存会 青田神楽保存会 誠謡会 真国御田保存クラブ アリエ・グ・リシ* 赤塚神楽佐儀利保存会 江の川水系漁撈文化研究会* 名荷神楽団 徳地人形浄瑠璃保存会 猿坂獅子組保存会 八幡丸運営委員会 宮谷堂の口あけまつり保存会 四三嶋獅子廻し実行委員会 館浦須古踊り保存会 大島村盆踊振興会 中江岩戸神楽保存会子供神楽部会 重岡岩戸神楽保存会 村所神楽保存会 佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)* 蓬原熊野神社神舞保存会 伊江村民俗芸能保存会	山形県 神奈川 山梨県 岐阜県 三重県 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 広島県 山口県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島	安浦駒踊り保存会 長沼町勇獅子舞保存会 妹背牛町獅子舞保存会 上郷伝統工芸研究会* 伊藤流行山鹿踊保存会 鷹生郷土芸能保存会 金津七夕祭保存会 大葛金山民俗芸能保存会 前山郷土芸能保存会 押切神楽保存会 民具製作技術保存会* 下部温泉神楽保存会 岐南町伏屋獅子舞保存会 東玉垣唐人踊り保存会 一色町能楽保存会 三日月市ワナイ保存会 淡河八幡播州音頭・踊り保存会 池尻神社人形狂言保存会 龍口獅子舞保存会 日南神楽 神光社 西本里美氏(西田葛の復興)* 隠岐いぐり風保存会* 備後かすり学習会* 羽佐竹神楽団後援会 鷺の舞保存会 船戸花取踊り保存会 大分の獅子保存会 今寺面浮立保存会 鷹島町島踊保存会 萩田浮立保存会 武多都神楽保存会 潮嶽神楽保存会 初木白太鼓保存会 硫黄島八朔太鼓踊り
北海道	留萌岩戸神楽保存会 (財)アイヌ民族博物館*	福井県 山梨県 長野県 岐阜県 三重県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 広島県	能登の揚浜式製塩保存会* だのせ祭り保存会 美和神社太々神楽保存会 日吉お鋤様祭り保存会 白鳥拝殿踊り保存会 大淀祇園祭保存会 貝塚東三吉馬保存会 青田神楽保存会 誠謡会 真国御田保存クラブ アリエ・グ・リシ* 赤塚神楽佐儀利保存会 江の川水系漁撈文化研究会* 名荷神楽団 徳地人形浄瑠璃保存会 猿坂獅子組保存会 八幡丸運営委員会 宮谷堂の口あけまつり保存会 四三嶋獅子廻し実行委員会 館浦須古踊り保存会 大島村盆踊振興会 中江岩戸神楽保存会子供神楽部会 重岡岩戸神楽保存会 村所神楽保存会 佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)* 蓬原熊野神社神舞保存会 伊江村民俗芸能保存会	山形県 神奈川 山梨県 岐阜県 三重県 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 広島県 山口県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島	平成5年度助成(35)
青森県 岩手県	古懸獅子舞保存会 行山流都島鹿踊保存会 平組はしご虎舞保存会 武鎗鹿踊保存会	山梨県 長野県 岐阜県 三重県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 広島県	能登の揚浜式製塩保存会* だのせ祭り保存会 美和神社太々神楽保存会 日吉お鋤様祭り保存会 白鳥拝殿踊り保存会 大淀祇園祭保存会 貝塚東三吉馬保存会 青田神楽保存会 誠謡会 真国御田保存クラブ アリエ・グ・リシ* 赤塚神楽佐儀利保存会 江の川水系漁撈文化研究会* 名荷神楽団 徳地人形浄瑠璃保存会 猿坂獅子組保存会 八幡丸運営委員会 宮谷堂の口あけまつり保存会 四三嶋獅子廻し実行委員会 館浦須古踊り保存会 大島村盆踊振興会 中江岩戸神楽保存会子供神楽部会 重岡岩戸神楽保存会 村所神楽保存会 佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)* 蓬原熊野神社神舞保存会 伊江村民俗芸能保存会	山形県 神奈川 山梨県 岐阜県 三重県 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 広島県 山口県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島	ヤイユーカーラの森* 新十津川町獅子神楽保存会 新山権現保存会 上郷伝統工芸研究会* 赤澤芸能保存会 宮崎獅子舞保存会 中野七夕保存会
宮城県 秋田県	北秋田市綴子下町太鼓保存会 鳥田日番楽保存会 山形町ふるさと資料館 上三坂のやっつき踊り保存会 あんば囃子保存会 宗円獅子舞保存会 沼田祇園囃子保存会連合会 仁組獅子舞保存会 ふるさと資料館建設推進委員会*	山梨県 長野県 岐阜県 三重県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 広島県	能登の揚浜式製塩保存会* だのせ祭り保存会 美和神社太々神楽保存会 日吉お鋤様祭り保存会 白鳥拝殿踊り保存会 大淀祇園祭保存会 貝塚東三吉馬保存会 青田神楽保存会 誠謡会 真国御田保存クラブ アリエ・グ・リシ* 赤塚神楽佐儀利保存会 江の川水系漁撈文化研究会* 名荷神楽団 徳地人形浄瑠璃保存会 猿坂獅子組保存会 八幡丸運営委員会 宮谷堂の口あけまつり保存会 四三嶋獅子廻し実行委員会 館浦須古踊り保存会 大島村盆踊振興会 中江岩戸神楽保存会子供神楽部会 重岡岩戸神楽保存会 村所神楽保存会 佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)* 蓬原熊野神社神舞保存会 伊江村民俗芸能保存会	山形県 神奈川 山梨県 岐阜県 三重県 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 広島県 山口県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島	
山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 千葉県 東京都 神奈川 新潟県 富山県	山形町ふるさと資料館 上三坂のやっつき踊り保存会 あんば囃子保存会 宗円獅子舞保存会 沼田祇園囃子保存会連合会 仁組獅子舞保存会 ふるさと資料館建設推進委員会*	山梨県 長野県 岐阜県 三重県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 広島県	能登の揚浜式製塩保存会* だのせ祭り保存会 美和神社太々神楽保存会 日吉お鋤様祭り保存会 白鳥拝殿踊り保存会 大淀祇園祭保存会 貝塚東三吉馬保存会 青田神楽保存会 誠謡会 真国御田保存クラブ アリエ・グ・リシ* 赤塚神楽佐儀利保存会 江の川水系漁撈文化研究会* 名荷神楽団 徳地人形浄瑠璃保存会 猿坂獅子組保存会 八幡丸運営委員会 宮谷堂の口あけまつり保存会 四三嶋獅子廻し実行委員会 館浦須古踊り保存会 大島村盆踊振興会 中江岩戸神楽保存会子供神楽部会 重岡岩戸神楽保存会 村所神楽保存会 佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)* 蓬原熊野神社神舞保存会 伊江村民俗芸能保存会	山形県 神奈川 山梨県 岐阜県 三重県 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 広島県 山口県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島	
福井県 山梨県	加茂神社上宮の神事 大久保神楽保存会 沢登六角堂切り保存会*	山梨県 長野県 岐阜県 三重県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 広島県	能登の揚浜式製塩保存会* だのせ祭り保存会 美和神社太々神楽保存会 日吉お鋤様祭り保存会 白鳥拝殿踊り保存会 大淀祇園祭保存会 貝塚東三吉馬保存会 青田神楽保存会 誠謡会 真国御田保存クラブ アリエ・グ・リシ* 赤塚神楽佐儀利保存会 江の川水系漁撈文化研究会* 名荷神楽団 徳地人形浄瑠璃保存会 猿坂獅子組保存会 八幡丸運営委員会 宮谷堂の口あけまつり保存会 四三嶋獅子廻し実行委員会 館浦須古踊り保存会 大島村盆踊振興会 中江岩戸神楽保存会子供神楽部会 重岡岩戸神楽保存会 村所神楽保存会 佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)* 蓬原熊野神社神舞保存会 伊江村民俗芸能保存会	山形県 神奈川 山梨県 岐阜県 三重県 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 広島県 山口県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島	
長野県	成就神楽囃子保存会 阿島傘の会*	山梨県 長野県 岐阜県 三重県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 広島県	能登の揚浜式製塩保存会* だのせ祭り保存会 美和神社太々神楽保存会 日吉お鋤様祭り保存会 白鳥拝殿踊り保存会 大淀祇園祭保存会 貝塚東三吉馬保存会 青田神楽保存会 誠謡会 真国御田保存クラブ アリエ・グ・リシ* 赤塚神楽佐儀利保存会 江の川水系漁撈文化研究会* 名荷神楽団 徳地人形浄瑠璃保存会 猿坂獅子組保存会 八幡丸運営委員会 宮谷堂の口あけまつり保存会 四三嶋獅子廻し実行委員会 館浦須古踊り保存会 大島村盆踊振興会 中江岩戸神楽保存会子供神楽部会 重岡岩戸神楽保存会 村所神楽保存会 佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)* 蓬原熊野神社神舞保存会 伊江村民俗芸能保存会	山形県 神奈川 山梨県 岐阜県 三重県 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 広島県 山口県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島	
岐阜県 愛知県 三重県	串原歌舞伎保存会 (財)平野町町政会 一色町能楽保存会 深野和紙保存会*	山梨県 長野県 岐阜県 三重県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 広島県	能登の揚浜式製塩保存会* だのせ祭り保存会 美和神社太々神楽保存会 日吉お鋤様祭り保存会 白鳥拝殿踊り保存会 大淀祇園祭保存会 貝塚東三吉馬保存会 青田神楽保存会 誠謡会 真国御田保存クラブ アリエ・グ・リシ* 赤塚神楽佐儀利保存会 江の川水系漁撈文化研究会* 名荷神楽団 徳地人形浄瑠璃保存会 猿坂獅子組保存会 八幡丸運営委員会 宮谷堂の口あけまつり保存会 四三嶋獅子廻し実行委員会 館浦須古踊り保存会 大島村盆踊振興会 中江岩戸神楽保存会子供神楽部会 重岡岩戸神楽保存会 村所神楽保存会 佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)* 蓬原熊野神社神舞保存会 伊江村民俗芸能保存会	山形県 神奈川 山梨県 岐阜県 三重県 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 広島県 山口県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島	
大阪府 兵庫県 奈良県 鳥取県	船待神社神楽子供獅子踊り保存会 廣峯神社無形文化財保存協議会 南都晃耀会 馬佐良申し上げ祭り保存会	山梨県 長野県 岐阜県 三重県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 広島県	能登の揚浜式製塩保存会* だのせ祭り保存会 美和神社太々神楽保存会 日吉お鋤様祭り保存会 白鳥拝殿踊り保存会 大淀祇園祭保存会 貝塚東三吉馬保存会 青田神楽保存会 誠謡会 真国御田保存クラブ アリエ・グ・リシ* 赤塚神楽佐儀利保存会 江の川水系漁撈文化研究会* 名荷神楽団 徳地人形浄瑠璃保存会 猿坂獅子組保存会 八幡丸運営委員会 宮谷堂の口あけまつり保存会 四三嶋獅子廻し実行委員会 館浦須古踊り保存会 大島村盆踊振興会 中江岩戸神楽保存会子供神楽部会 重岡岩戸神楽保存会 村所神楽保存会 佐々木寛治郎氏(手漉き和紙)* 蓬原熊野神社神舞保存会 伊江村民俗芸能保存会	山形県 神奈川 山梨県 岐阜県 三重県 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 広島県 山口県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 大分県 宮崎県 鹿児島	
平成7年度助成(43)		北海道 青森県	月浦獅子舞保存会 釧路アイヌ民芸企業組合* 沼崎念仏鶏舞保存会	宮城県 秋田県	
		北海道 青森県	月浦獅子舞保存会 釧路アイヌ民芸企業組合* 沼崎念仏鶏舞保存会		

平成3年～令和6年 都道府県別伝統文化助成先一覧(2) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県	長命講伊勢踊 土佐歌舞伎伝承会 今津人形芝居保存会(恵比須座) 嘉瀬の浦獅子浮立保存会 森鉦浮立保存会 西大村浮立保存会 樺木神楽保存会 高沢組太鼓踊り保存会 五馬玉来神社楽保存会 尾八重神楽保存会 久留 平氏(太鼓製作)* 津貫中間豊祭太鼓踊り保存会 平出水太鼓踊り保存会 津波古獅子蹴跳保存会* 保栄茂自治会	山形県 群馬県 神奈川 新潟県 石川県 福井県 長野県 岐阜県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島 沖縄県	平田さしこの会* 猿田彦神社大和神楽保存会 大宮神社獅子舞保存会 海南神社面神楽保存会 湯川五社神社伶人会 木津漁漁太鼓保存会 若狭町三宅六斎念仏保存会 今庄羽根曾踊保存会 内山柱松保存会 若松友志会 栗谷念仏踊り保存会 老杉神社頭屋行事保存会 伊根町立石区 久多の山村生活用具保存会* 野間出野秋祭り保存会 多可町播州歌舞伎クラブ 祭文音頭保存会 木本八幡宮の御田祭保存会 円通寺人形芝居保存会 出雲大社教神代神楽波積支部波積神楽団 今田町内会 横野和紙工業協同組合* 比和町郷土芸能振興会 つるぎ町天の岩戸神楽保存会 香翠座デコ芝居保存会 弓削雨乞踊保存会 西畑人形芝居保存会 鐘崎盆踊り振興会 東真手野舞浮立保存会 嬉野町温泉区面浮立保存会 黒丸踊保存会 目丸棒踊り保存会 本町虫追い太鼓を考える会 国東神楽社 綾町宮原地区唐人踊り保存会 伊崎田和紙保存会* 鹿児島市中山町下虚無僧踊保存会 草戸原 前バル原	平成8年度助成(続き) 島根県 伝承ホーランエンマ湯瀬伝馬保存会 岡山県 川上町渡り拍子保存会 広島県 阿刀神楽保存会 山口県 陶腰輪踊保存会 愛媛県 お藤踊保存会 高知県 遼三番双保存会 福岡県 流鏝馬武徳会 佐賀県 蔵上御田舞保存会 長崎県 鬼木鐘浮立保存会 熊本県 南阿蘇長野野戸神楽保存会 大分県 天間地区公民館 宮崎県 広原神楽保存会 鹿児島 大の始式保存会 柏原区芸能保存会 沖縄県 武富旗頭復元実行委員会	
平成12年度助成(49)		平成11年度助成(48)		平成9年度助成(47)	
北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 群馬県 埼玉県 神奈川県 新潟県 富山県 山梨県 長野県 愛知県 三重県 滋賀県 兵庫県 奈良県	掛漣奴保存会 目名神楽会 上郷しし踊り保存会 塚沢早池峰神楽保存会 和測法印神楽保存会 秋田市太平山谷番楽保存会 沢渡獅子舞保存会 海老根伝統手漣和紙保存会* 八槻都々古別神社楽人会 西金砂神社田楽舞保存会 平出歌舞伎保存会 日進餅つき踊り保存会 NPO法人小田原鎗物研究所* 城腰花笠踊保存会 岩瀬まだら保存会 八朔祭下町屋台保存会 小菅神社氏子総代会 大治太鼓保存会 能田徳若万歳保存会 ゆうづる会* 大江羯鼓踊保存会 下笠参弥礼踊り保存会 さいれん坊主保存会 月ヶ瀬奈良晒保存会* 田口水分神社奉讃会 竹田さいとりさし少年団 追神頭打供盛団 養山八幡の吹離子行事保存会 柳井縞の会* 祝島神舞奉賛会 坂州若連中 ひょうげ祭り保存会 内子町伝統文化継承団体連合会 川名津神楽保存会 一の宮万歳保存会 吉木芸能保存会 立岩浮立保存会 馬渡区鉦浮立保存会 土井九浮立保存会 大浦区舟グロ保存会 嵯峨島オーモンデー保存会 福山神楽保存会 和間放生会祭典委員会 北原人形芝居保存会 伊形花笠踊り保存会 塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)* 下小原八月踊保存会 大川青年会 謝名アヤチ獅子保存会	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 東京都 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 三重県 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 鹿児島 沖縄県	蘭越町根曲がり竹細工研究会* 穂別町アイヌ民族文化保存会 籠神社法霊神楽保存会 山内神楽保存会 城生野神楽会 大沢郷椒沢番楽保存会 越沢自治会 海老根伝統手漣和紙保存会* 豊景神社太々神楽保存会 日枝神社流鏝馬保存会 升塚獅子舞保存会 奥平神社獅子舞保存会 深作ささら獅子舞保存会 江戸消防彩粋會 杉野沢民俗芸能保存会 福光ちよんがれ保存会 上井田獅子舞保存会 美浜町和田区 中之倉神楽保存会 日野多慶子氏(願法寺の絵解き) 曾原かんこ踊保存会 油日神社奴振り太鼓踊り保存会 吉志部神社どんじ保存会 大蔵谷獅子舞保存会 吉野山青年団御田植神事保存会 小川郷土芸能保存会 芦津獅子舞保存会 玉若酢命神社御霊会風流保存会 幸崎町能地春祭保存会 数方庭保存会 阿波木偶箱まわし保存会 NPO法人農村歌舞伎祇園座保存会 高知獅子保存会	北海道 雷公神社神楽会 青森県 田子神楽保存会 岩手県 行山流都鳥鹿踊保存会 宮城県 嵯峨立神楽保存会 秋田県 森岳歌舞伎保存会 山形県 小田島田植踊保存会 福島県 北部先囃子若龍会 栃木県 芦沼獅子舞保存会 群馬県 沼須人形芝居保存会(あけぼの座) 千葉県 野田津久舞保存会 神奈川 宮城野獅子舞保存会 新潟県 警女唄ネットワーク 越後弥彦手仕事倶楽部* 富山県 八尾町曳山保存会 石川県 小松市歌舞伎愛好会 福井県 和久里壬生狂言保存会 長野県 仁科神明宮神楽保存会 岐阜県 新築舎獅子舞保存会 静岡県 島田帯祭保存会 愛知県 古出来町神社奉賛会お祭囃子保存会 三重県 長太鯨船(天王丸)保存会 なすび団扇継承保存会* 深野和紙保存会* 滋賀県 綿向神社雅楽「楽人座」 京都府 棚倉孫神社瑞饋御輿保存会 京都府 久多の山村生活用具保存会* 大阪府 三夜連絡継承会 兵庫県 播州音頭踊保存連合会 奈良県 安堵町なもて踊り保存会 和歌山 高芝の獅子舞保存会 鳥取県 福栄伝統芸能保存会 島根県 民谷神楽団 岡山県 大賀島大智明権現保存会 広島県 江波漣伝馬保存会 徳島県 高川原勇獅子保存会 香川県 東かがわ市白鳥虎頭舞保存会 高知県 土佐の暮らしの文化を守る会 福岡県 松会保存会 佐賀県 飯田面浮立保存会 長崎県 若宮稻荷神社 竹ン芸保存会 熊本県 中窪田神楽保存会 大分県 野々河内神楽保存会 宮崎県 高城町穂満坊あげ馬保存会 鹿児島 徳重大太鼓踊り保存会 平原利秋氏(ゴッタン民俗楽器製作)* 沖縄県 泡瀬京太郎保存会 伊波貞子氏(メンサー・織物)*	
平成13年度助成(50)		平成10年度助成(47)		平成10年度助成(47)	
北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県	ペーパン福島踊り保存会 高館駒踊保存会 小袖漁撈唄保存会 湯屋神楽保存会 筆甫神楽保存会 八沢木獅子舞保存会 福米沢送り盆保存会	北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 東京都 新潟県 富山県 石川県 福井県 山梨県 長野県 三重県 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県 和歌山 鳥取県 島根県 広島県 山口県 徳島県 香川県 愛媛県	穂別町アイヌ民族文化保存会 白符荒馬踊保存会 丹内金津流鹿踊保存会 行山流湧水鹿踊保存会 山伏神楽保存会 雄物川町岡本新内伝承会 五城目町民俗芸能保存連絡協議会 横岡サエの神保存会	北海道 穂別町アイヌ民族文化保存会 岩手県 白符荒馬踊保存会 丹内金津流鹿踊保存会 行山流湧水鹿踊保存会 宮城県 山伏神楽保存会 秋田県 雄物川町岡本新内伝承会 五城目町民俗芸能保存連絡協議会 横岡サエの神保存会	

平成3年～令和6年 都道府県別伝統文化助成先一覧(3) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
				平成13年度助成(続き)	
三重県	水沢お諏訪おどり保存会	和歌山	藤白の獅子舞保存会	山形県	ハツ沼大名行列組合
滋賀県	ずいき祭保存会	島根県	南本通吉兆行事保存推進協議会	福島県	両原早乙女踊り保存会
京都府	丹後藤布振興会*	岡山県	白明会*	茨城県	東金砂神社田楽舞保存会
大阪府	大阪太鼓文化研究会*	広島県	大朝飾り牛保存会	栃木県	大沢田太々神楽保存会
兵庫県	小五月祭(棹の歌)保存会	山口県	徳佐はやしだ保存会	群馬県	上泉獅子舞保存会
鳥取県	賀露神社麒麟獅子舞保存会	愛媛県	井原圭子氏(和紙用簀製作)*	神奈川	長安寺六字誂念仏講中
島根県	須佐神楽保存会	福岡県	水田天満宮稚児風流保存会	新潟県	二田物部神社神楽舞保存会
広島県	小原大元神楽 小原神楽団	佐賀県	戸ヶ里浮立保存会	福井県	今庄羽根曾踊保存会
	南方の万灯保存会		祖子分面浮立保存会	長野県	湯原神社式三番保存会
香川県	肥土山農村歌舞伎保存会	長崎県	滑石竜踊保存会		外倉獅子舞保存会
愛媛県	豊茂五ッ鹿踊り保存会	熊本県	菜ノ花会*	岐阜県	高桑太鼓保存会
高知県	西諸木花取踊り保存会		九州相良古代踊り下免田保存会	愛知県	金沢歌舞伎
佐賀県	広瀬浮立保存会	大分県	佐伯市宇目酒利獅子保存会	三重県	なすび団扇継承保存会*
長崎県	太田尾町自治会*		下旦祇園囃子保存会こども祇園囃子		「てんでん」保存会
	戸根浮立保存会	宮崎県	行勝町白太鼓踊り保存会	滋賀県	古高鼓踊り保存会
熊本県	加勢川開発研究会合せ打保存会*		六日町ヨイマカ保存会	京都府	天満神社相撲保存会
	下里白太鼓踊り保存会	鹿児島	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*	大阪府	榎井西青年団
大分県	萩神社俵楽	沖縄県	鮫島健志氏(加世田の鍛冶)*	兵庫県	宗教法人 廣峯神社
宮崎県	太郎坊べぶ踊り保存会		大浜青年会	奈良県	月ヶ瀬奈良晒保存会*
鹿児島	入来神舞保存会		今泊拳術保存会	和歌山	熊野速玉大社祭事保存会
沖縄県	新川青年会		平成15年度助成(35)	鳥取県	江波三番叟保存会
平成17年度助成(37)		北海道	剣淵神楽保存会「剣龍会」	島根県	都神楽団
青森県	青森ねぶた正調囃子保存会	青森県	大川原の火流し保存会	岡山県	地域伝統工芸がませごの会*
岩手県	大ヶ生山伏神楽保存会	宮城県	山田大名行列組合		神根神社獅子舞保存会
	喜多流大船渡	秋田県	湯船保存会*	広島県	磐門神楽団
宮城県	新城の田植踊保存会		根子番楽保存会		郷之崎神楽団
秋田県	赤田獅子舞保存会	山形県	吹浦田楽保存会	山口県	山崎八幡宮 本山神事保存会
山形県	蔵岡延年の舞保存会	群馬県	行田獅子舞保存会	徳島県	大俣じょうれい踊り保存会
福島県	館早乙女踊保存会	千葉県	パッパカ獅子舞保存会	愛媛県	河内口説保存会
	木目沢三匹獅子保存会	神奈川	長谷ささら踊り盆唄保存会		野間獅子連中
茨城県	日立郷土芸能保存会	石川県	輪島市本町キリコ奉賛会	福岡県	うきは市石垣保存実行委員会*
栃木県	三本木獅子舞保存会	岐阜県	数河獅子保存会	佐賀県	佐賀錦振興協議会*
埼玉県	辻の獅子舞保存会	静岡県	富士宮囃子保存会		西神野玄蕃一流浮立保存会
千葉県	岩沼の獅子舞保存会	愛知県	住吉ちんところ祭委員会		千代田中部小学校 高志狂言保存会
	中野獅子保存会	三重県	本郷「かんこ」踊り保存会	長崎県	大浦区舟グロー保存会
	幸田羯鼓舞保存会	滋賀県	志那中サンヤレ踊り保存会	熊本県	菜ノ花会*
東京都	矢部八幡宮獅子舞保存会	京都府	二箇上区		相良吾平阿蘇神社伝統神楽保存会
神奈川	田村ばやし保存会		阿良須神社練込保存会		産島八幡宮海を渡る祭礼保存会
福井県	蔵生区自治会	兵庫県	魚吹八幡神社武神祭保存会	大分県	板井迫神楽保存会
山梨県	高尾山穂見神社神楽保存会	奈良県	尾山萬歳保存会	宮崎県	虚無僧踊保存会
長野県	熊野神社祭囃子保存会	和歌山	推出の鬼の舞保存会	鹿児島	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*
	桐原獅子舞保存会	鳥取県	貴布禰神社麒麟獅子舞保存会	沖縄県	津波古獅子蹴跳保存会*
愛知県	牧野嶋念仏踊り保存会	島根県	見々久神楽保持者会		那覇市首里汀良町獅子舞保存会
三重県	白塚町通夜講	広島県	枝の宮田楽団	平成14年度助成(48)	
滋賀県	渋川花踊り保存会	徳島県	つるぎ町一字雨乞い踊り保存会	北海道	篠路歌舞伎保存会
兵庫県	住吉神社水無月祭打込囃子保存会	愛媛県	佐田岬裂織り保存会*	青森県	入口青年会
奈良県	田原地区伝統芸能保存会		客天弓祈禱保存会	岩手県	彦部郷土芸能保存会
和歌山	春駒保存会	高知県	狩山豊年踊保存会		板用肩怒剣舞保存会
島根県	矢上田植ばやし保存会	福岡県	求菩提山お田植祭保存会	宮城県	河南鹿嶋ばやし保存会
広島県	羽佐竹神楽団後援会	佐賀県	仁比山神社大御田祭御田舞保存会		君萱若松神社神楽会
福岡県	八女市土橋八幡宮神幸行事保存会	長崎県	上戸石町自治会	秋田県	東長野ささら保存会
佐賀県	川内浮立保存会	熊本県	西安寺神楽保存会	山形県	南陽市古代織りの伝統を守る会 *
	三部区	大分県	大恩文化財愛護少年団	福島県	白鳥神社太々神楽保存会
長崎県	中尾獅子浮立と唐子踊保存会	宮崎県	唐瀬子供神楽会	茨城県	真家みたまおどり保存会
熊本県	宝川内志賀段七踊り保存会	鹿児島	田之浦山宮神社神楽保存会	栃木県	上横倉の獅子舞保存会
大分県	田原獅子保存会	沖縄県	いしゃなざら青年会	群馬県	千本木龍頭神舞保存会
宮崎県	川内棒踊保存会		平成16年度助成(36)	埼玉県	沖内囃子保存会
鹿児島	久見崎盆踊り「想夫恋」保存会	青森県	片岸えんぶり組	千葉県	野田津久舞保存会
沖縄県	天願獅子舞保存会	岩手県	田東剣舞保存会	東京都	手作り絹研究会・多摩織部会*
平成18年度助成(37)		宮城県	廿一田植踊保存会	神奈川	相模里神楽垣澤社中
北海道	元更別大神神社石見神楽保存会	秋田県	黒川番楽保存会	富山県	諏訪神社獅子舞保存会
青森県	斗内獅子舞保存会	山形県	羽黒山松例祭若者衆	福井県	じごく祭保存会
岩手県	豊沢大念佛剣舞保存会	福島県	昭和村からむし織後継者 →育成事業実行委員会*	山梨県	下市之瀬の獅子舞保存会
	生出神楽保存会		尾ざく獅子舞保存会		表門神社神楽保存会
宮城県	大曲法印神楽保存会	栃木県	赤城町古典芸能保存会	長野県	木賊獅子保存会
秋田県	大湯太鼓保存会	群馬県	本納滝之谷獅子舞保存会	岐阜県	有道しゃくし保存会 *
福島県	会津万歳安佐野保存会	千葉県	むさしのばやし保存会	愛知県	伝承知多木綿つものき *
茨城県	片野排禍ばやし保存会	東京都	三増獅子舞保存会		石上げ祭伝承保存会
栃木県	興野ささら獅子舞保存会	神奈川	宮崎神楽保存会	三重県	野口御神楽保存会
群馬県	泉沢町郷土芸能保存会	富山県	和田中神社太神楽保存会	滋賀県	上砥山田楽踊保存会
千葉県	万作踊り松戸保存会	長野県	上駒沢祭典保存会	兵庫県	南光子ども歌舞伎育成会
東京都	美山町彫獅子舞保存会		向山神楽獅子保存会	奈良県	月ヶ瀬奈良晒保存会 *
神奈川	あつぎひかし座	愛知県			

平成3年～令和6年 都道府県別伝統文化助成先一覧(4) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
熊本県	黒辺田野白太鼓踊保存会	栃木県	下鉢石町自治会	平成18年度助成(続き)	
鹿児島	塩田次郎氏(薩摩琵琶製作)*	群馬県	宝積寺白鬚神社雅楽部	石川県	加賀万歳保存会
沖縄県	黒島民俗芸能保存会	埼玉県	椿名神社太々神楽保存会	福井県	舟寄踊保存会
平成22年度助成(42)		埼玉県	脚折雨乞行事保存会	愛知県	きねこさ祭保存会
青森県	二ツ森神楽芸能保存会	千葉県	岩沼の獅子舞保存会	滋賀県	椿神社流鏑馬保存会
岩手県	門中組振興会	東京都	田無ばやし保存会	大阪府	大阪欄間工芸協同組合*
宮城県	佐藤明彦氏(堤人形製作)*	神奈川県	海南神社行道面保存会	兵庫県	仁色長持保存会
秋田県	冬師番楽保存会	新潟県	他門神楽保存会	和歌山	糸我郷土伝統芸能保存会
山形県	西袋獅子踊保存会	富山県	半田神社神楽舞保存会	鳥取県	美成地区
福島県	菅波伝統文化継承会	山梨県	八口諏訪社獅子舞保存会	島根県	野石谷伝統芸能保存会
茨城県	あおき囃子連	岐阜県	大垣外獅子舞保存会	広島県	諸木郷土芸能保存会
栃木県	河井獅子舞保存会	静岡県	美濃歌舞伎保存会	徳島県	多田健二氏(阿波木偶人形制作)*
群馬県	木崎音頭保存会	愛知県	掛塚屋台囃子保存会	香川県	香翠座デコ芝居保存会
埼玉県	三若会	三重県	六ツ師獅子舞保存会	福岡県	豊前感應楽保存会
千葉県	柏合獅子舞保存会	滋賀県	生桑長松神社鏡餅奉納会	佐賀県	西牟田区子供こし・鉦浮立保存会
	熊野神社神楽保存会	大阪府	曾原獅子舞踊保存会	長崎県	平島ナーマイドー保存会
東京都	上本郷獅子講中	奈良県	篠田の花火保存会*	熊本県	ききつ船津ペーロン保存会
	榎立踊り保存会	和歌山	だいがく保存会		竹迫観音祭保存会下町分会
新潟県	川根谷内獅子保存会	島根県	川西町保田自治会	大分県	栖本町郷土芸能保存会
富山県	福島青年親交会	岡山県	ねんねこ祭保存会		保戸島伝統芸能保存会
石川県	小松尾小屋鳶保存会	広島県	岩野原獅子舞保存会	宮崎県	熊襲踊保存会
長野県	玉依比賣命神社	徳島県	福石神楽団	鹿児島	細野一区輪太鼓踊り保存会
岐阜県	加納まちづくり会(和傘製作)*	香川県	名字獅子舞保存会		小島棒踊り保存会
静岡県	巖室神社鎮火祭保存会	福岡県	五日子芸能保存会	沖縄県	中間棒踊り保存会
愛知県	有松天満社文嶺講	長崎県	後山からくり襷絵保存会	平成19年度助成(39)	北海道
三重県	牛蒡祭保存会	熊本県	流水灌頂法要保存会		
滋賀県	志賀神社氏子総代	宮崎県	下町獅子山保存会	北海道	寿都松前神楽保存会
大阪府	三ツ松明土行念仏保存会	鹿児島	上原浮立保存会	青森県	大平大神楽
兵庫県	北野まつり保存会	宮崎県	川島神楽連	岩手県	法領田獅子踊り保存会
奈良県	惣谷狂言保存会	宮崎県	都呂々獅子舞太鼓踊り保存会	宮城県	羽山神楽保存会
鳥取県	向垣神社祭礼行事保存会	鹿児島	入下神楽保存会		浪板虎舞保存会
島根県	玉若酢命神社御霊会風流保存会	鹿児島	前野田植唄民謡保存会	秋田県	鳥海山日立舞横岡番楽保存会
岡山県	佐方子供古備神楽伝承教室	沖縄県	船浮民俗芸能保存会	山形県	幸生区・三地区契組会
広島県	おたけ手すきと紙保存会*	平成21年度助成(42)		福島県	浮島神社太々神楽保存会
山口県	山代白羽神楽保存会	北海道	大船南部神楽保存会	栃木県	糠塚三匹獅子保存会
徳島県	橘だんじり祭り獅子組	青森県	乳井獅子保存会		芦沼獅子舞保存会
愛媛県	北方獅子舞保存会	岩手県	四ツ堰鹿子踊り保存会	群馬県	山本政史氏(日光下駄製作)*
高知県	シットロト踊り保存会	宮城県	村崎野大乗神楽保存会		貝沢西組獅子舞保存会
福岡県	鷹尾神社伝統芸能文化保存維持会	秋田県	中新田火伏せの虎舞保存会	埼玉県	下日出谷餅搗踊り保存会
佐賀県	母ヶ浦面浮立保存会	福島県	梅内郷土芸能保存会	千葉県	八幡神社の獅子舞保存会
長崎県	平島盆踊り保存会	栃木県	渡戸高野・鯨組	東京都	星竹囃子連
熊本県	栖本町郷土芸能保存会	群馬県	文挾流手岡獅子舞講中	新潟県	内島見神楽保存会
大分県	新町自治会	埼玉県	新井八幡宮獅子舞保存会	石川県	二所宮獅子舞保存会
宮崎県	高木郷土芸能保存会	埼玉県	北袋囃子連	福井県	長畝日向神楽保存会
沖縄県	都城市高城町桜木あげ馬保存会	千葉県	不入斗同志会	山梨県	藤木道祖神祭保存会
	鳩間民俗芸能保存会	東京都	代々木囃子保存会	長野県	山新田太神楽保存・育成会
平成23年度助成(42)		神奈川県	山田獅子舞保存会	愛知県	名古屋港筏師一本乗り保存会
北海道	糠内獅子舞保存会	新潟県	小向獅子舞保存会	三重県	矢浜神楽保存会
青森県	同心町熊野神社神楽連	羽森神社神楽舞保存会		滋賀県	大原学区豊年太鼓踊り保存会
岩手県	外山神楽保存会	桐山獅子舞保存会		京都府	田山花踊り保存会
宮城県	熊野堂神楽・舞楽・十二神鹿踊保存会	石川県	門前とどろ保存会	兵庫県	小野原住吉神社神舞保存会
秋田県	福嶋サイサイ囃子保存会	長野県	町区太々神楽実行委員会	岡山県	栗井春日歌舞伎保存会
山形県	若宮八幡神社太々神楽保存会	静岡県	高岡道祖神日待占祭保存会	広島県	長尾神社湯立神楽保存会
福島県	杉沢愛宕神社三匹獅子保存会	愛知県	笹間神楽保存会	山口県	藤生神楽保存会
群馬県	美茂呂町屋台囃子保存会	三重県	日下部太鼓保存会	徳島県	上八万伝統文化を守る会
埼玉県	白久串人形芝居保存会	滋賀県	大江羯鼓踊保存会	香川県	賀茂神社長床神事保存会
千葉県	旅名鞆鼓舞保存会	京都府	中堀町自治会孔明祈水山保存会	愛媛県	かぶと踊り保存会
東京都	引田獅子舞保存会	兵庫県	質美下村区文化財保存委員会	高知県	東洋町流鏑馬保存協議会
神奈川	諏訪神社崇敬会		日吉神社龍王の舞及び祝詞太鼓保存会	熊本県	大浦獅子保存会
	川名屋台ばやし保存会	奈良県	福住下自治会	熊本県	柳別府太鼓踊り保存会
新潟県	天神林天満宮伶人会	鳥取県	八島町六斎念仏講	大分県	深山流朝地神楽保存会
富山県	田島自治会	和歌山	南道奴行列保存会	宮崎県	郷之原神社芸能協賛会
福井県	宇波西神社神事芸能保存会	島根県	江波三番叟保存会	鹿児島	鮫島健志氏(加世田の鍛冶)*
山梨県	山梨岡神社舞子		八神神楽団	沖縄県	如竹踊り保存会
長野県	NPO法人小谷山村留学育成会*	岡山県	高津沖田地区環境保全向上対策協議会*		古見民俗芸能保存会
岐阜県	八幡神社祭礼運営委員会	広島県	宇甘神社獅子舞保存会	平成20年度助成(40)	
静岡県	東光寺猿舞保存会	徳島県	富士神楽団	北海道	寿都松前神楽保存会
愛知県	中之切奉賛会	香川県	特定非営利活動法人赤松煙火保存会*	青森県	上十川獅子踊保存会
三重県	立神自治会	福岡県	和田雨乞踊保存会	岩手県	都鳥田植踊保存会
京都府	周枳民芸保存会	佐賀県	上久原白山宮獅子舞保存会	宮城県	日高見流浅部法印神楽保存会
大阪府	野崎第一地車保存会	長崎県	自然と暮らしを考える研究会*	秋田県	鳥海山小滝舞楽保存会
兵庫県	淡路人形浄瑠璃青年研究会	熊本県	権常寺浮立保存会	山形県	舟渡獅子踊り保存会
奈良県	神波多神社獅子神楽保存会		竹迫観音祭保存会	福島県	北萱浜神楽愛好会

平成3年～令和6年 都道府県別伝統文化助成先一覧(5) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
平成27年度助成(44)		平成26年度助成(44)		平成24年度助成(54)	
北海道	遠矢神楽舞保存会	北海道	美和権現獅子舞保存会	青森県	五戸えんぶり組
青森県	甲地神楽保存会	青森県	目名神楽会	岩手県	門中組振興会
岩手県	小通芸能保存会	岩手県	の組菱和会		片岸虎舞保存会
	槻沢芸能保存会	宮城県	白浜自治会		山岸さんさ踊り保存会
宮城県	葉巻神社三輪流神楽保存会	宮城県	舟渡獅子踊り保存会	宮城県	小室契約会
秋田県	坂之下番楽保存会	山形県	松岡若連		浪板虎舞保存会
山形県	綱木獅子踊り保存会	福島県	日光離子保存会		磯草虎舞保存会
茨城県	古内大杉ばやし保存会	栃木県	津久田人形操作伝承委員会		大谷大漁唄い込み保存会
栃木県	天下一関白流西組獅子舞保存会	群馬県	今成地区山車・離子保存会		長塩谷南部神楽保存会
埼玉県	久那獅子舞保存会	埼玉県	赤沼民俗文化財保存会		大室南部神楽保存会
	金鑽神楽永田組	千葉県	久長元耕地獅子舞保存会		相川南部神楽保存会
千葉県	坂戸の踊躍念佛講	東京都	道庭獅子連保存会		仙台堆朱*
東京都	大宮前郷土芸能保存会	神奈川県	八幡離子保存会	秋田県	秋田万歳保存会
	多摩めかいの会*	神奈川県	台祭離子保存会	山形県	大谷神楽保存会
神奈川	根府川寺山神社鹿島踊保存会	新潟県	水沢伝統芸能保存会	福島県	川原田神楽保存会
新潟県	昔かたり春よこい	富山県	加茂神社神事伝承会		新館太々神楽保存会
富山県	広野自治会	石川県	内灘町宮坂区		鹿島神社郷土芸能保存会
石川県	神子原壮年団	福井県	鈴鹿区太鼓保存会	栃木県	天命鑄物伝承保存会*
長野県	日和山神社芸能保存会	山梨県	一之瀬高橋春駒保存会	群馬県	白瀧神社太々神楽保存会
岐阜県	綾野第三自治会小獅子軸保存会	長野県	根神社式三番受保存会	埼玉県	下小坂獅子舞保存会
愛知県	知立神社神楽保存会	岐阜県	綾野第4自治会綾野祭軸廻々軸保存会	千葉県	飯岡ばやし日の出会
三重県	若宮八幡神社北村石取り祭保存会	愛知県	東大高祭禮保存会	東京都	高井戸離子保存会
滋賀県	大野木豊年太鼓踊保存会		下笠参弥礼踊り保存会	新潟県	大谷地和紙保存会*
京都府	玉田神社「宮座」森当座	滋賀県	出雲風流花踊り保存会		蔵王稚児舞の会
大阪府	中垣内地車保存会	京都府	NPO法人丹波漆*	富山県	加茂神社神事伝承会
兵庫県	土師獅子舞保存会	大阪府	延喜式内社 岐尼神社	石川県	向粟崎悪魔祓い保存会
奈良県	篠原おどり保存会	和歌山	池田秀孝氏(紀州高野組子細工技術)*	福井県	多賀区獅子保存会
和歌山	亀の川念仏踊り保存会	鳥取県	服部神社獅子舞保存会	山梨県	中之倉神楽保存会
鳥取県	菖蒲神社麒麟獅子舞保存会			長野県	湯原神社式三番保存会
島根県	三谷神社獅子舞保存会			岐阜県	河鹿神社賀喜踊保存会
広島県	山根神楽団			愛知県	万足平を考える会*
	おおたけ手すき和紙保存会*				東浦町森岡おまんこ祭り保存会
山口県	切山歌舞伎保存会			三重県	戸木東組かんこ踊り保存会
徳島県	池谷郷土芸能保存会			滋賀県	小野町太鼓踊保存会
愛媛県	井原圭子氏(伊予簀製作)*			大阪府	深江菅細工保存会*
福岡県	永井獅子保存会			兵庫県	西町獅子舞保存会
佐賀県	浮立・荒踊り保存会			奈良県	田原地区伝統芸能保存会
長崎県	命婦の舞保存会			和歌山	堅田祭保存会
熊本県	仲町の茶わん鉢保存会			岡山県	大浦神社
	宇土市轟泉簡易水道組合*			広島県	御調八幡宮花の踊り保存会
大分県	堅浦古典芸能保存会			山口県	上野神楽舞保存会
宮崎県	神下俵踊り保存会			徳島県	森藤獅子舞保存会
鹿児島	目手久民謡保存会			香川県	安田おどり保存会
沖縄県	仲玉獅子舞保存会			愛媛県	井原圭子氏(和紙用簀製作)*
平成28年度助成(43)		平成29年度助成(43)		平成30年度助成(43)	
北海道	寿都松前神楽保存会	北海道	寿都松前神楽保存会	北海道	寿都松前神楽保存会
青森県	入口青年会	青森県	入口青年会	青森県	入口青年会
	嘉瀬奴踊り保存会	青森県	嘉瀬奴踊り保存会	青森県	嘉瀬奴踊り保存会
岩手県	遠野郷板澤し踊り保存会	岩手県	遠野郷板澤し踊り保存会	岩手県	遠野郷板澤し踊り保存会
宮城県	赤谷神楽保存会	宮城県	赤谷神楽保存会	宮城県	赤谷神楽保存会
秋田県	鳥海山小滝舞楽保存会	秋田県	鳥海山小滝舞楽保存会	秋田県	鳥海山小滝舞楽保存会
山形県	清川獅子神楽実行部会	山形県	清川獅子神楽実行部会	山形県	清川獅子神楽実行部会
福島県	太田川梅若和讃唄念仏踊保存会	福島県	太田川梅若和讃唄念仏踊保存会	福島県	太田川梅若和讃唄念仏踊保存会
	梅田三匹獅子舞保存会	福島県	梅田三匹獅子舞保存会	福島県	梅田三匹獅子舞保存会
栃木県	大沢獅子舞保存会	栃木県	大沢獅子舞保存会	栃木県	大沢獅子舞保存会
群馬県	鷲宮太々神楽保存会	群馬県	鷲宮太々神楽保存会	群馬県	鷲宮太々神楽保存会

平成3年～令和6年 都道府県別伝統文化助成先一覧(6) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
三重県 滋賀県 大阪府 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 山口県 徳島県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県	五ヶ所浦区	鹿児島	ナゴシドンのつなぎ手事業	平成28年度助成(続き)	
	古屋六斎念仏踊保存会	沖縄県	ヨンシ-踊り保存会	埼玉県	粟生田囃子会
	中佐備町会		新里民俗芸能保存会		新久はやし保存会
	下浜三番叟保存会		伊是名区	千葉県	家之子獅子連郷土芸能保存会
	紅しで踊り保存会		平成30年度助成(43)	東京都	森山はやし保存会
	逢束盆踊り保存会	北海道	砂川もちつき保存会	神奈川	田村ばやし保存会
	土江子ども神楽団		越中踊り子供保存会	新潟県	小川連中
	末田焼物の里保存会*		留萌岩戸神楽保存会	富山県	岩瀬白山町曳山愛好会
	七成会	青森県	柏木町荒馬保存会	福井県	日吉青年会
	下吾川獅子舞保存会		八幡崎郷土芸能保存会	長野県	影山区
大分県 宮崎県 沖縄県	大谷花取踊保存会	岩手県	善楽流獅子舞保存会	愛知県	白山神社奉納雅楽舞踊保存会
	沼楽保存会		大槌城山虎舞	三重県	牛蒡祭保存会
	龍宿浦面浮立保存会	宮城県	宮刈田嶺神社附属神楽組	滋賀県	金居原太鼓踊り保存会
	島原本綿織保存会*	秋田県	鹿角紫根染・茜染研究会*	京都府	福知山市佛性寺自治会
	狩立オネオンデ保存会		板戸番楽保存会	兵庫県	熊野神社浄舞保存会
	玖珠神楽神祇社	山形県	致芳地区文化振興会	奈良県	龍口獅子舞保存会
	小川神楽保存会	福島県	磐梯町本寺区	和歌山	土生八幡神社「お頭保存会」
	志多伯獅子舞棒術保存会		門鹿王子神社太々神楽保存会	鳥取県	大和佐美命神社獅子舞保存会
	令和2年度助成(42)		天下一関白神獅子舞保存会	島根県	野石谷伝統芸能保存会
	青森県	栃木県	八木原諏訪神社太々神楽舞子会	広島県	下板木コミュニティー
岩手県 宮城県	青笹町しし踊り保存会	群馬県	金鑽神楽岡部組保存会	山口県	むつみ神楽保存会
	白石和紙 蔵富人*	埼玉県	賀茂神社民俗芸能保存会	徳島県	東辻郷獅子舞牡丹連保存会
	塩竈神楽保存会	千葉県	青梅市虎柏神社祭礼行事保存会	愛媛県	NPO法人姫だるまプロジェクト*
	上若郷土芸能保存会	東京都	赤塚太々神楽保存会	高知県	日高村太刀踊保存会
	達磨寺田植踊り保存会	福岡県	田井野区・多由比神社伝統芸能保存会	福岡県	元岡祇園ばやし保存会
	海老根伝統手漉和紙保存整備事業実行委員会*	長野県	野辺町来迎念仏講	佐賀県	宮野浮立保存会
	女沼ささら保存会	岐阜県	東座歌舞伎保存会	長崎県	横尾だんじり保存会
	尾出山神社関白流獅子舞保存会	静岡県	東光寺猿舞保存会	熊本県	東方組太鼓踊り保存会
	新井諏訪神社獅子舞保存会	愛知県	藤江神社ハッ頭舞楽保存会	大分県	岡倉神楽保存会
	金鑽神楽本庄組神楽保存会	三重県	田口念佛踊継承会	宮崎県	酒谷地区むらおこし推進協議会
秋田県 山形県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 神奈川 新潟県 富山県 石川県 福井県 長野県 岐阜県 愛知県	家之子獅子連郷土芸能保存会	滋賀県	黒川花笠太鼓踊り保存会	鹿児島	止上神社神舞保存会
	大戸囃子保存会	和歌山	広川町古典芸能保存会	沖縄県	友寄獅子舞棒術保存会
	相模人形芝居 前鳥座	鳥取県	秋里伝統文化を保存する会		崎原克友 氏(八重山上布製作)*
	関山神社仮山伏伝承会	島根県	三葛神楽保持者会	平成29年度助成(43)	
	稗田伝統文化保存会	山口県	豊原地区腰輪踊り保存会	北海道	有明獅子舞有志の会
	中央町中忠会	徳島県	信正鉦踊り保存会	青森県	国吉獅子踊保存会
	三国祭囃子 初香会	香川県	櫃石ももて祭保存会	岩手県	篠木神楽保存会
	中堂紫石会	愛媛県	天神花踊り保存会		平泉流細野念仏剣舞
	青墓大太鼓踊りを守る会	高知県	佐喜浜八幡宮古式行事保存会	秋田県	脇本山車どんどん保存会
	古布区古布獅子舞保存会	福岡県	博多鉦製作技術保存会*		亀田大神楽神楽講
三重県 滋賀県 大阪府 和歌山	尾張旭市印場北部地区警固祭り保存会		前田の盆踊保存会	山形県	岩根沢大々神楽保存会
	立岡虫送り保存会	佐賀県	下新ヶ江地区沖ノ島太鼓浮立保存会	福島県	荒獅子保存会
	朝日豊年太鼓踊保存会	長崎県	正山八ノ川青年団	栃木県	伊王野下町祭保存会
	摂州地車囃子かずら	熊本県	清源寺神楽保存会	埼玉県	東不動院野神楽保存会
	根来塗曙山会*	大分県	山香神楽保存会		古久喜獅子舞保存会
	顯國神社三面保存会	宮崎県	比木神社神楽会	千葉県	熊野神社神楽保存会
	出雲大社教神代神楽 西日登神楽社中	鹿児島	竹田神社からり保存会	東京都	清水ばやし保存会
	田熊神代神楽保存会	沖縄県	松原自治会	神奈川	野比中村町内会虎踊り保存会
	下関平家踊保存会西山連		令和元年度助成(42)	新潟県	浦瀬町奏楽保存会
	穴喰祇園祭お能保存会	青森県	八戸市島守小学校神楽クラブ	石川県	柴垣壮年団
徳島県 香川県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県	原獅子組	岩手県	八幡大神楽保存会	福井県	津島区神楽保存会
	浮津西町鯨舟の唄保存会	宮城県	秋保神社神楽保存会	長野県	小市神楽囃子保存会
	松会保存会	秋田県	大湯大太鼓保存会	岐阜県	関市獅子舞保存会
	米多浮立保存会		仙道番楽保存会		岐阜和傘プロジェクト実行委員会*
	長坂浮立保存会	山形県	鍋田念佛講保存会	静岡県	江浦伝統文化保存会
	永尾ちよぼくれ保存会	茨城県	古河神楽保存会	愛知県	出川町棒ノ手保存会
	柳別府太鼓踊り保存会	栃木県	大神神社神楽保存会	三重県	大淀東区自治会
	宝楽保存会	群馬県	市祇園囃子保存会	滋賀県	井之口太鼓踊保存会
	日南市泰平踊本町組保存会	埼玉県	戸口囃子会	大阪府	大東市中垣内自治会
	大崎伝統芸能神舞保存会		武甲山御嶽神社里宮太々神楽保存会	和歌山	太地町民芸保存会 寄水青年同志会
宮城ウシデーク保存会	宮城ウシデーク保存会		諏訪万作保存会	鳥取県	波津神社獅子舞保存会
	令和3年度助成(43)	千葉県	岩沼の獅子舞保存会	島根県	深野神楽こども教室
	北海道	東京都	檜立太鼓会	岡山県	仕組踊り保存会 城扇
	青森県	富山県	広野自治会	広島県	上河内獅子舞保存会
		石川県	川尻会 獅子舞響	山口県	徳地人形浄瑠璃保存会
		福井県	高浜七年祭保存会	徳島県	池谷神踊り保存会
	岩手県	山梨県	小伏獅子舞保存会	香川県	賀茂神社長床神事保存会
		長野県	根神社式三番叟保存会	福岡県	水田天満宮稚児風流保存会
	宮城県	岐阜県	杉山は清氏(飛騨わらび製縄)*	佐賀県	納富分浮立保存会
	秋田県	静岡県	伊豆鳥田区不動尊講	長崎県	東浜町一組女相撲保存会
山形県 福島県	釜ヶ台番楽保存会	愛知県	勝幡おこままつり保存会	熊本県	菊池市下出田区・植古閑区
	大谷獅子舞保存会		下門祭礼保存会	大分県	三輪流臼杵神楽保存会
	芳賀須内青年会		鳥原歌舞伎愛好会	宮崎県	麓輪太鼓踊り保存会

平成3年～令和6年 都道府県別伝統文化助成先一覧(7) *印は民俗技術

助成先		助成先		助成先	
令和6年度助成(続き)		令和4年度助成(続き)		令和3年度助成(続き)	
東京都	鈴木ばやし保存会	佐賀県	沖永区自治会	茨城県	東牛谷お囃子保存会
神奈川県	若葉台囃子連	長崎県	勝本祭り囃子保存会	栃木県	大神神社伶人保存会
福井県	宇波西神社神事芸能保存会		宮崎昭行氏(木造和船製作)*	埼玉県	塚越囃子連
長野県	伺去神楽保存会	熊本県	菊池市下出田区、植古閑区	千葉県	笹川神楽保存会
	瀬原田太々神楽保存会		市原町自治会(市原獅子舞保存会)	東京都	留原囃子保存会
	川中島町四ツ屋区 中島神楽保存会	宮崎県	綾町唐人踊り保存会	神奈川県	宮城野獅子舞保存会
岐阜県	有道しゃくし保存会*	令和5年度助成(48)		新潟県	横下町稚児舞保存会
	川上 舟晴氏*	岩手県	行山流湧水鹿踊保存会	富山県	広野自治会
	白山比咩神社獅子舞保存会		大々生山伏神楽保存会	山梨県	向原下組道祖神御神木保存会
愛知県	関川一町内会		山田大神楽保存会	長野県	和田神社御神楽芸能同志会
	馬場区祭礼保存協議会	秋田県	大森親山獅子大権現舞保存会		荻原神社秋祭り実行委員会
三重県	津市分部町唐人踊保存会		比立内獅子踊保存会比靖会	岐阜県	荒川松阪踊り保存会
	鹿海町自治会	福島県	前沢の女宝財踊保存会	愛知県	大留下棒の手保存会
滋賀県	荒井 恵梨子氏*		下柴獅子団		常滑市小倉囃子保存会
	第16区自治会	茨城県	田倉三匹獅子保存会		河和山車保存会
京都府	千本あんま堂大念佛狂言保存会	埼玉県	粟生田囃子会	京都府	大住隼人舞保存会
	初土俵入保存会		地縁法人 上町会		伊根町 亀島区
大阪府	太町町内会	千葉県	佐倉囃子保存会	奈良県	大宝寺六斎講
	羽曳野市誉田西之口町会	神奈川	藤野歌舞伎保存会	和歌山	紀州製竿組合*
	自然田第三自治会 東組		前鳥神社囃子太鼓保存会	島根県	出雲國大原神職神楽保存会
	福岡中地車会	新潟県	矢作里神楽保存会	広島県	宮之庄神楽団
	中庄地車保存会	富山県	高砂山願念坊祭り保存会		宗教法人 須佐神社
	小塩町自治会	石川県	御経塚青年会	徳島県	勝瑞獅子舞保存会
	東西片添町秋祭運営委員会	山梨県	小明見富士浅間神社太々神楽保存会	香川県	山本長刀踊保存会
	阿間河滝町会	岐阜県	玉太鼓踊り保存会	高知県	船戸花取踊り保存会
	上町町会	静岡県	島田鹿島踊保存会	福岡県	今宿青木獅子舞保存会
	西大路町会	愛知県	東海市万歳保存会	佐賀県	戸杓浮立保存会
兵庫県	<柳>自分堂*		牟呂八幡宮神幸祭神事相撲保存会	長崎県	高浜相撲協会
	法花寺万歳保存会	京都府	周枳民芸保存会三番叟組	大分県	立石楽継承活動応援隊
島根県	小森神楽保存会	大阪府	鍛冶町町会		阿鹿野獅子保存会
岡山県	中田上之町魁組神楽保存会		日置荘西町東部町会	鹿児島	土踊保存会
広島県	阿刀神楽団		釜室町会	沖縄県	伊集の打花鼓保存会
	滝坂神楽舞保存会		八田寺町町内会	令和4年度助成(45)	
徳島県	阿波木偶箱まわし保存会		大北町会	北海道	月浦獅子舞保存会
香川県	東かがわだんじり子供歌舞伎保存会		中尾生町会	岩手県	江刺家神楽保存会
愛媛県	赤網代牛鬼保存会(酔牛鬼会)		尾生町会	宮城県	中浜神楽保存会
高知県	三島神社		上代町内会		佐治鹿踊伝承会
福岡県	木屋瀬宿場踊振興保存会		尾井町町会	秋田県	新沢八幡神社獅子舞講
	楠原踊保存会		富秋町会	山形県	中山町川向金比羅樽流し保存会
佐賀県	江福綾竹鉦浮立保存会	島根県	有福神楽保持者会	福島県	横沢の麓山まつり保存会
	特定非営利活動法人 長崎流籠馬保存会		石見神楽保存会 久城社中	茨城県	日立郷土芸能保存会
熊本県	栖本町郷土芸能保存会	広島県	三良坂町郷土芸能保存会	栃木県	三本木獅子舞保存会
宮崎県	六日町ヨイマカ保存会	山口県	住吉神社 御田植祭協賛会	群馬県	八幡原太々神楽保存会
鹿児島	高城町太鼓踊り保存会	香川県	十獅会	埼玉県	野々宮獅子舞保存会
沖縄県	沖縄県豊見城市字高安自治会	高知県	鶴来島地区	千葉県	相野谷郷土芸能保存会
累計助成件数 1,461件		福岡県	銀座子供山笠	東京都	代々木囃子保存会
			戸畑祇園鳥籠町子供山笠	神奈川県	曾我別所寿獅子舞保存会
			戸畑祇園元宮子供山笠		大谷はやし連
		佐賀県	蔵上町御田舞保存会	新潟県	赤倉神楽保存会
			母ヶ浦面浮立保存会	富山県	広野自治会
		熊本県	南川獅子保存会	山梨県	米倉人形芝居保存会
			園田 久氏*	長野県	下駒沢氏子保存会
			穴川夜神楽保存会		羽場獅子舞保存会
		鹿児島	津貫中間豊祭太鼓踊保存会	愛知県	尾張旭市新居地区馬の塔保存会
		沖縄県	喜名伝統芸能保存会		向山区神楽獅子保存会
		令和6年度助成(61)			足助宮町お囃子保存会
		北海道	望来獅子舞保存会	滋賀県	大荒比古神社奴振り保存会
		青森県	小川原神楽連中保存会	京都府	平自治会
			牛滝若者組	兵庫県	お弓神事保存会
		岩手県	向川原虎舞	和歌山	戯瓢踊保存会
			浪板大神楽保存会	島根県	宅野神楽団
		宮城県	北上町女川法印神楽保存会	岡山県	作州緋保存会*
		秋田県	新町若者会	広島県	津田神楽団
		山形県	山五十川古典芸能保存会	山口県	北河内神楽舞保存会
		福島県	涼ヶ岡八幡神社神楽保存会		下津令大神楽保存会
			福田十二神楽保存会	徳島県	姫田獅子舞保存会
			八雲神社		櫛木獅子舞保存会
		茨城県	小幡ひょっとこ囃子保存会	香川県	認定NPO法人農村歌舞伎祇園座保存会
		栃木県	関谷子供囃子保存会	愛媛県	牛鬼保存会
		群馬県	千代田八木節保存会	高知県	尾崎太刀踊り保存会
		埼玉県	西大輪獅子舞保存会	福岡県	竹の曲保存会
		千葉県	都町諏訪神社囃子会		江上神社風流保存会

財団案内

財団の目的

明治安田クオリティオブライフ文化財団（理事長：関口憲一）は、音楽における人材育成ならびに地域の伝統文化の保存維持、および後継者育成に対する助成などをおこない、もって国民生活の質的向上ならびにわが国文化の発展に寄与することを目的としています。

【財団の概要】

名 称	公益財団法人 明治安田クオリティオブライフ文化財団 THE MEIJI YASUDA CULTURAL FOUNDATION
設 立	平成3年（1991年）6月10日
主務官庁	内閣府
基本財産	14億6,800万円（2024年3月末日現在）
事業内容	・ 音楽分野における若手芸術家の人材育成に対する助成 ・ 民俗芸能等地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成 ・ 芸術文化活動に関する調査研究、出版物の刊行
事業計画	○クラシック音楽分野における若手音楽家の人材育成に対する助成 ・ 海外における音楽研修に対する助成 ・ 国内音楽学生に対する奨学援助 ○民俗芸能等地域の伝統文化の保存維持、後継者育成に対する助成 ・ 地域の民俗芸能（含、民俗行事、民俗音楽）の保存維持、後継者育成のための助成 ・ 地域の民俗技術（含、伝統的製作技術、衣食住に関わる生活技術、伝統工芸）の保存維持、後継者育成のための助成
事業成果	これまでの累計助成状況（令和6年10月現在） ・ 音楽分野 611人 10億4,990万円 ・ 伝統文化分野 1,461件 7億2,847万円
主な出捐企業	明治安田生命保険相互会社